

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度							六つの取組の視点					進捗状況		令和5年度	令和6年度	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり進捗している	計画どおり進捗していない	中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)		
【柱1】古代から現代までの豊富な文化財					事業数80事業（うち、新規事業17事業）																
101	城下町・水の都魅力発信事業	観光戦略プランを強力に推進するため、コンセプトである「Authentic Japan “MATSUE” ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」や「水の都」にスポットを当てた事業を展開し、松江市の魅力を最大限に活用した観光振興を図る。	観光部	★		●	●	●							●	●	○		・令和5年が観光戦略プラン実行の初年度にあたることから、そのコンセプト「Authentic Japan “MATSUE” ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」や「水の都」の発信のため、下記の事業を行う。 ○城下町の魅力活用事業 ・国宝松江城・お城まつり →松江らしい演出で桜咲く松江城へ誘客を行った。 ・国宝松江城ライブ →国宝松江城を舞台に人気アーティストによるライブを3/20(水祝)に行う。 ・武者のまち発信事業 →松江城やJR松江駅などで武者によるおもてなしを実施中。 ○水の都の魅力活用事業 ・ヘルスツーリズム →心身のリフレッシュや健康増進につながるコンテンツづくりおよびモニターツアーを3/7～9で実施する。 ○情報発信事業 ・夕日のプランディング事業として、ブランドサイト、ブランドキービジュアルを作成中。 ・閑散期(12月～2月)の観光誘客および魅力発信のため、冬季専用のHPを作成した。	47,000千円	60,000千円
102	嫁ヶ島環境整備事業	平成11年に設置(平成17年災害による復旧施工あり)した現在の棧橋は、腐食などの老朽化が進んできたことから、宍道湖の修景に配慮した素材や防舷材を使った棧橋に付け替え、安全性を確保するとともに観光誘客につなげる。	観光部	★		●										●	○	・令和5年8月18日完成(令和5年8月25日竣工)	13,000千円	—	
103	小泉八雲旧居保存活用事業	旧居公開に向けた検討及び、保存活用計画策定準備を行う。 事務・事業委託(樹木管理)	文化スポーツ部	★		●	●	●									○	・施設の非公開部分の活用に向けた整理を含め、保存活用計画の策定をする必要がある。 ・保存活用計画策定に向けて、関係各所(文化庁、県等)協議を進めている。	904千円	8,514千円	
104	美保関観光ビュッフェ保存活用事業	重要文化財に指定(令和4年2月)されたことを受け、保存活用計画を策定する。	文化スポーツ部	★		●											○	・美保関灯台とあわせて施設の一部が重要文化財指定された(令和4年2月)ことに伴い、灯台の一般公開に向けた、課題の洗い出しや整理を進めている。 ・令和5年度保存活用計画案を作成中。国や県のスケジュールに合わせて案を提出する。	484千円	—	

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない				
105	SNS等による情報発信推進事業	多種多様な伝統文化芸術を誰もが興味を持てるように、文化・スポーツ関係イベントを約1分程度のニュース動画にわかりやすくまとめ、年間を通じてYouTubeやSNS等で発信する。	文化スポーツ部	★			●	●								○		・9月以降に開催をした下記のイベントについて、会場の様子等を約1分間にまとめYouTubeにて配信をした。 【ニュースを作成したイベント】 ・第51回松江市民美術展、第57回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト、小泉八雲記念館企画展、松江祭襲行列、松江歴史館企画展(2件)、第40回松江城大茶会、第1回市民で国宝松江城天守の床磨き、松江市歴史のまち歩き～白湯～、国宝松江城マラソン2023、第45回まつえレディースハーフマラソン、全国椿サミット松江大会	2,452千円	2,452千円
106	県指定真名井神社本殿保存修理事業費補助金	県指定真名井神社本殿の高欄が毀損しており、所有者によって保存修理が実施される。保存修理に対して県とともに市として補助金を交付する。	文化スポーツ部	★			●									○		・7月に工事業者と契約を交わし、7月末に工事が完了した。 ・8月末に実績報告を県と市に提出され、確定通知を伝達した。	545千円	—
107	県指定真名井神社本殿防災施設整備事業費補助金	県指定真名井神社本殿の防災施設が不十分であるため、所有者によって実施される防災施設整備事業に対して県とともに市として補助金を交付するもの。	文化スポーツ部	★			●									○		・6月末に工事業者と契約を交わし、取付け機材を発注した。	1,166千円	—
108	重文木造薬師如来坐像収蔵施設(華蔵寺)修理事業費補助金	所有者が実施する国指定重要文化財木造仏像を収蔵する施設の修理に対して国・県とともに市として補助金を交付する。	文化スポーツ部	★			●									○		・7月に設計業者と契約を交わした。実施設計完了後、8月末に工事業者と契約を交わした。	1,637千円	—
109	重文木造薬師如来坐像外4軀収蔵施設(佛谷寺)修理事業費補助金	所有者が実施する国指定重要文化財木造仏像を収蔵する施設の修理に対して国・県とともに市として補助金を交付する。	文化スポーツ部	★			●	●								○		・8月初旬に設計業者と契約を交わした。 ・現在実施設計中。	718千円	518千円
110	AR・VR推進事業	田和山史跡公園において、ARコンテンツ(田和山山頂から見た古景観の復元)の実装及び田和山遺跡のVRデータ作成を行う。	文化スポーツ部	★			●	●	●							○		・同志社大学リエゾンオフィスに委託中	2,875千円	3,613千円
111	菅田横穴墓群発掘調査事業(受託事業)	民間事業者からの受託を受け、菅田横穴墓群(菅田町)の発掘調査を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部	★			●	●								○		・事業者の都合により事業が延期。今年度・来年度中の実施はなし。	34,093千円	—
112	鏡田遺跡発掘調査事業(受託事業)	民間事業者からの受託を受け、鏡田遺跡(大庭町)の発掘調査を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部	★			●	●								○		・現地での発掘調査を8月に終了。	5,659千円	671千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない				
113	新庄圃場整備関係発掘調査事業費(受託事業)	松江県土から受託を受け、過年度に実施した新庄圃場整備に伴う発掘調査の報告書作成を行うもの。なお、文化財保護法第93条及び第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部	★			●									○		・10月から報告書作成中。	1,520千円	—
114	鈴垂城跡発掘調査事業費(受託事業)	航空自衛隊からの受託を受け、鈴垂山城跡(美保関町)の発掘調査及びこれに伴う報告書の作成・刊行を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部	★			●									○		・現地での発掘調査を10月で終了。現在、報告書作成中。	11,422千円	—
115	宮田古墳群発掘調査事業(受託事業)	民間事業者からの受託を受け、宮田古墳群(西川津町)の発掘調査を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部	★			●	●								○		・現地での発掘調査を11月で終了。	9,334千円	1,112千円
116	文化財デジタルアーカイブ構築事業	「文化財保存活用地域計画」に掲げる文化財情報のデジタル化推進の取り組みとして、松江市の各文化財施設が保有する文化財情報をデジタル化して一元化を図り、利用しやすい環境を整える。	文化スポーツ部	★			●		●	●	●	●	●	●		○		・令和5年度は第1段として鹿島歴史民俗資料館の収蔵品を対象に、データベース化に着手している。	2,000千円	—
117	松江城伐採木有効活用事業費	令和4年度に天守への延焼防止を目的に伐採した木の有効活用を図る。	文化スポーツ部	★			●	●								○		活用に必要な伐採木の乾燥と製材を実施中。	6,258千円	4,849千円
118	スポーツ・文化振興財団管理	公益財団法人松江市スポーツ・文化振興財団に係る人件費等。	政策部		●	●	●	●	●	●	●					○		・採用計画をたて、職員の新陳代謝を進めた。 ・中央図書館、島根図書館、東出雲図書館、移動図書館の運営業務を実施した。 ・中央図書館については、松江市総合文化センター大規模改修工事に伴い臨時休館、7月末まで2つのサービスステーション(イオン松江・スティック)で代替サービスを実施した。 ・東出雲図書館は6月にヨリアイーナ東出雲へ移転開館した。	173,484千円	189,527千円
119	嫁ヶ島活用事業	嫁ヶ島を活用したイベント開催を補助し観光資源として活用・魅力向上を図るとともに、常設ライトアップの維持管理を行う。	観光部		●	●	●	●	●		●	●	●			○		・4月から11月まで、土・日・祝(荒天時を除く)に嫁ヶ島のライトアップを実施した(桟橋工事により、6～8月末まで一時休止)。 ・8月6日(日)に「歩いて渡る嫁ヶ島」を実施。9月23日(土)に「嫁ヶ島万灯会」、10月中に「湖上茶会」を実施した。	3,000千円	3,000千円
120	松江水燈路事業	松江の光の景観形成の方針である「光のマスタープラン」に基づき実施する「松江水燈路」を開催することで、城下町松江の夜の賑わいを創出し、滞在型観光客の増を図る。	観光部		●	●	●	●	●		●	●				○		・9月23日から10月15日までの土・日・祝に開催 ・松江城周辺のライトアップ、市民の手作り行燈、堀川遊覧船夜間運航、屋台設置、松江城神楽実施、シャトルバス運行など。	22,000千円	22,000千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない				
121	城下町AR・VR体験環境整備事業	国宝松江城を中心とした文化財の魅力在海外・国内観光客に紹介し体験滞在の満足度を向上させるため、AR(拡張現実)・VR(仮想現実)技術を活用したアプリケーションを提供する。	観光部		●	●	●	●	●						●		○	・アプリケーションの維持管理 ・AR・VRの広報	1,584千円	1,045千円
122	潜戸観光遊覧船更新事業	(一社)加賀潜戸遊覧船が所有する船2艘の老朽化が進行し、新しいものでも30年が経過している状況にある。遊覧船更新により観覧受入環境を整え、ジオパークの推進に繋げるもの。	観光部				●	●	●						●		○	・5月に国土交通省の安全対策を踏まえた仕様の遊覧船の入札を行い、造船業者を決定した。	39,000千円	38,600千円
123	潜戸観光遊覧船運営補助金	島根半島東部地域の景勝地である加賀潜戸を周辺で観覧できる遊覧船の運行管理体制を整えることで、観光事業の振興発展を図る。	観光部			●	●	●	●						●		○	・毎月計画通り補助金の支払を行っている。	7,500千円	7,500千円
124	松江の文化力次世代育成・継承事業	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●				●		○	【松江の文化力体験推進事業】 ・11の教室を開催し、計362人の親子が本市の誇る伝統文化や文化芸術を体験する機会を創出した。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・7月に自治会を通じて、全市にチラシを回覧し、5つの団体から補助金申請を受けた。	5,763千円	4,763千円
125	小泉八雲旧居管理運営	小泉八雲旧居(国指定史跡)の管理運営を指定管理者に委託する。【指定管理者制度適用】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				●		○	・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数:25,723人(1月末時点)	3,552千円	5,687千円
126	美保関観光ビュッフェ管理運営	美保関観光ビュッフェの維持管理を指定管理者に委託する。【指定管理者制度適用】 重要文化財に指定(令和4年2月)されたことを受け、保存活用計画を策定する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●						●	●	○	・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。	2,090千円	4,637千円
127	武家屋敷保存活用事業	武家屋敷の管理に伴う修繕工事を行う。	文化スポーツ部			●		●	●	●	●				●		○	・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数:51,564人(1月末時点)	1,317千円	2,436千円
128	小泉八雲記念館管理運営	小泉八雲記念館の管理運営を指定管理者に委託する。【指定管理者制度適用】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				●		○	・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数:55,563人(1月末時点)	24,030千円	35,318千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない			
129	佐陀神能用具等修理・新調事業	佐陀神能で使用している面、衣装、用具等の老朽化が激しいことから、佐陀神能保存会が行う、文化庁の補助金を活用した修理・新調事業の支援をする。	文化スポーツ部		●	●	●	●								○	<ul style="list-style-type: none"> ・「佐陀神能民俗文化財調査報告書(令和2年度)」をもとに、令和3年度から佐陀神能保存会が実施する修理・新調事業に対し支援を実施。令和5年度は3ヵ年事業の最終年の予定であったが、文化庁補助事業分のうち3面の完成が間に合わないため、令和6年度に繰り越して実施をする。 ■文化庁事業分 当初は計6点(面:6点)の復元新調を予定。うち3点は完成予定。残りの3面は令和6年度に繰り越して実施。 ■松江市単独事業分 計52点(衣装:41点、道具:11点)の復元新調を予定している。 	11,305千円	448千円
130	文化力を生かしたまちづくり推進事業	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●							○	<ul style="list-style-type: none"> ■審議会 第1回審議会:10月17日開催 第2回審議会:3月25日開催予定 ■庁内連絡会 ・必要に応じて開催をする予定 ■「令和6年度版松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画」を策定予定 	648千円	1,261千円
131	ジオパーク推進事業	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●						○	子ども向け体験イベントをはじめ、定時ガイドによるツアーや研修会等、様々な活動により目標値に近い入込客数があった。	10,709千円	10,935千円
132	県指定雁皮紙用具修理事業補助金	保持者が実施する糞をはじめとした紙漉き用具の修理に対する県補助事業の随伴補助。	文化スポーツ部			●	●	●								○	・紙漉きに用いる糞の修理に対する補助を実施。	113千円	79千円
133	史跡松江城史跡等取得事業	城山地内の私有地の買上げに要する経費。	文化スポーツ部			●	●	●								○	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、1件の用地取得を実施した。 ・来年度の取得へ向けた土地の測量、不動産評価等を進めている。 	21,938千円	236,059千円
134	重文木幡家住宅保存修理(第2期)事業補助金	所有者が実施する重文木幡家住宅主屋ほか9棟の保存修理に対する国補助事業の随伴補助。	文化スポーツ部			●	●	●								○	・昨年度に引き続き、保存修理を実施しており、現在、修理のための解体や、足場、素屋根などの共通仮設置を進めている。	6,428千円	8,086千円
135	重文木幡家住宅防災施設整備事業補助金	R4:所有者が実施する重文木幡家住宅新蔵ほか2棟の自動火災報知設備整備に対する国補助事業の随伴補助。 R5:木幡家住宅全体の総合的な防災設備に係る文化庁現地指導旅費に対する市補助	文化スポーツ部			●	●	●								○	・業者選定、計画等検討中。	40千円	2,045千円
136	わがまち自慢発掘プロジェクト事業	公民館区毎に作成した地域の“お宝”を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●						○	・令和4年度に「まち歩きマップ」を改訂増刷した2地区をはじめ、8地区(大庭・本庄・法吉・乃木・大野・宍道・城北・白湯)で「まち歩き」を実施。(5月~11月)合計198名の参加があった。	1,108千円	1,130千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない				
137	国有文化財管理	国有文化財(名勝天然記念物)の毀損・滅失及び不法占拠を防止するため、国庫補助事業を活用して見廻り監視を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●								○		・令和4年度と同様に、潜戸、美保の北浦、多古の七つ穴の見廻り監視を実施。	375千円	375千円
138	史跡及び名勝菅田庵維持管理	史跡及び名勝菅田庵の維持管理を行う。維持管理に要した実費の一部は所有者が負担し、また県から指定面積に応じて定額の補助金が支給される。なお、既指定地については、従来どおり所有者が維持管理を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●							○		・令和4年度と同様に、管理団体として追加指定地の維持管理を実施している。	4,616千円	4,616千円
139	史跡松江藩主松平家墓所整備事業補助金	史跡松江藩主松平家墓所について、文化財の本質的価値を将来にわたって望ましい形で保存し、公開活用する目的で、所有者が実施する保存修理事業に対して、国・県とともに市として補助を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●									○	・令和5年4月に整備検討委員会を開催。 ・同委員会で決定した事業計画に基づき支障木伐採工事実施設計、参道修復工事等を実施。	8,410千円	13,866千円
140	史跡等維持管理	松江市が所有する史跡や重要遺跡の維持管理を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●									○	・令和4年度と同様に、史跡等の除草、トイレ清掃などを実施。 ・令和5年8月に権現山洞窟住居跡(美保関)の危険木伐採。	10,743千円	11,056千円
141	指定文化財維持管理補助金	指定文化財の管理については、所有者等に様々な法的規制を課して適正な管理をすることとしており、これを円滑に実施するために、所有者等が行う管理上の経費について助成し、文化財の適正な管理を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●									○	・令和4年度と同様に、防災設備点検、環境整備等に対する補助を実施。	833千円	904千円
142	鹿島歴史民俗資料館管理運営	鹿島歴史民俗資料館の管理・運営及び発掘調査に伴う出土品の特別展示や佐太神社を中心とした由緒ある文化財のほか、佐陀神能に関する資料、増田渉と魯迅関連資料等の保存・伝承や有効活用を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●						○	・企画展「海上の覇者 奥才古墳群」を開催。 ・特別展「茶色い戦争ありました一軍事郵便と鹿島の戦争」を開催。	12,102千円	11,627千円
143	出雲玉作資料館管理運営	全国唯一の玉作り資料館として、「古代の玉作り」を柱に、「近代めう細工」、「布志名焼の歴史」等の常設展示を行うとともに、企画展等を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●						○	・春季企画展「福島窯と本船木窯～江戸期から続いた民窯～」を開催。 ・夏季企画展「没後10年 船木倭帆のガラス展～玉湯町布志名が生んだ工芸作家～」を開催。 ・秋季企画展「手仕事の美～暮らしのなかの布志名焼と生活道具～」を開催。	10,565千円	11,910千円
144	松江市歴史文化まちづくり計画推進	松江市歴史的風致維持向上計画(歴史まちづくり計画)[計画期間:令和2年度～令和11年度]の進捗管理を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●						○	・8月8日 第1回歴まち協議会 ・2月2日 第2回歴まち協議会	138千円	110千円
145	全国街道交流会議	地域独自の自然、歴史、文化を生かしたまちづくり、みちづくりを議論し、街道を共通軸とした連携・交流を行うNPO全国街道交流会議へ所属し年会費を負担する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●			●	●				○	・年会費の負担	50千円	189千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない			
146	伝統的建造物群保存地区検討事業	美保関町美保関の美保神社周辺に残る歴史的なまちなみの保存・活用を通して、生活環境や景観の向上を図り、生活や生業、伝統行事等を後世へ継承する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・文化財的価値づけにつなげるため、文化庁補助事業「伝統的建造物群保存対策調査」(2年間)の2年目に着手し、年間5回にわたる調査を完了している。 ・2月4日に調査の成果報告会を開催した。 ・重伝建制度の導入について住民の理解を深めるため、美保関まちなみ研究会の事業を運営し、計3回の勉強会などを開催した。 ・9～10月、住民による先進地視察を実施した。(岡山県矢掛町、大田市大森银山)	4,377千円	1,149千円
147	文化財収蔵施設維持管理	文化財収蔵施設として活用する宍道菟古館及び島根歴史民俗資料館及び八雲郷土文化保存伝習施設の維持管理を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・令和4年度と同様に、資料整理・活用、施設の維持管理等を実施	915千円	915千円	
148	歴史的建造物保全継承事業	歴史的なまちなみを形成している古い建造物(歴史的建造物)の滅失を防ぐために、所有者との協働により保全継承し活用することで、歴史的資源を生かしたまちづくりを進める。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・松江市交通局主催による歴史的建造物を巡るレイクラインバスツアー(2回)の開催 ・6月:地域活性化や民間ビジネスにつなげるため、歴史的建造物活用事業「美保関セキノイチ」を開催 ・8月～11月:2次調査(2件:三島邸、旧米江旅館) ・1月:登録についての諮問(1件、旧米江旅館)	7,399千円	6,903千円	
149	廻田古墳群発掘調査事業	文化財保護法第93条および第99条の規定に基づき、記録保存のため、廻田古墳群の埋蔵文化財発掘調査を実施するもの。	文化スポーツ部			●	●						●	○		・現地での発掘調査を7月で終了。現在、報告書作成中。	1,961千円	—	
150	史跡田和山・神後田遺跡史跡等取得事業	史跡田和山・神後田(じごで)遺跡の史跡指定地の公有地化を実施する。	文化スポーツ部			●	●	●					●	○		・9月で用地測量、補償物件調査業務委託完了。10月から契約手続きを行う予定。	14,603千円	20,465千円	
151	埋蔵文化財本調査事務	公益財団法人松江市スポーツ・文化振興財団に委託していた発掘調査(本調査)について、松江市直営で実施する体制を整備するもの。	文化スポーツ部			●	●	●					●	○		・発掘調査の完全直営化に伴い、現地調査5件、報告書作成7件の事業を実施するため、会計年度任用職員(補助員8名、遺物整理員5名)の雇用とこれにかかる事務等を行った。	42,714千円	47,230千円	
152	史跡出雲国分寺跡整備事業(単独事業)	八雲立つ風土記の丘を松江市の南の歴史・文化・観光の拠点とするため、史跡出雲国分寺跡の整備を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●				●	○		・史跡の追加指定に向けての地権者との協議が停滞している。文化庁との事前協議も今後行う予定。	118千円	118千円	

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している			
153	史跡田和山遺跡公園管理運営	史跡田和山遺跡公園の維持管理を行うとともに、史跡公園の活用を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●			○		・田和山史跡公園植栽管理(除草)委託を年2回(7月,10月)、神後田遺跡の除草及び竹木伐採業務委託を12~1月に実施。その間には職員による除草作業も各々年2~3回行った。 ・8月5日・6日実施の水郷祭湖上火大会の見物目的で田和山史跡公園に多数の人が来訪するため、入場制限(各日350名まで)を設けたうえ、公園内の安全監視、駐車場の交通誘導を行った。 ・8月20日に夏休み体験教室を開催、小学生およびその保護者を対象に、弓矢づくり、山の幸染ランプシェードづくりを体験してもらった。 ・田和山遺跡の活用団体(田和山サポートクラブ、里山を育てる会等)との定期的な連絡会は継続、8月7日をもって通算200回を迎えた。	7,697千円	8,754千円
154	重要遺跡活用促進事業	令和3年に出雲国分寺跡が国史跡指定100周年、田和山遺跡が国史跡指定20周年を迎え、令和4年に出雲玉作跡国史跡指定100周年を迎える。いずれも史跡として節目の年を迎えるにあたり、「松江の文化財百年の歴史とこれから」をテーマとした連続講座事業を開催する。	文化スポーツ部		●	●		●	●		●			○		—	—	291千円
155	石垣修理事業	崩落の危険性が高い石垣の修理工事を年次的に行い、石垣の保全を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●			○		・月見槽下石垣保存修理工事の報告書を作成する。	1,586千円	188千円
156	田和山史跡公園再整備事業	国史跡指定20周年を迎えた田和山遺跡について、追加指定となった神後田遺跡をはじめとする周辺の松江市南郊の遺跡群との関連性などの新たな知見を基に分かりやすく紹介するとともに来訪者が安全に見学できるよう史跡公園の再整備を実施するもの。復元掘立柱建物の改修や手摺、木橋などの公園施設の改修を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●			○		・史跡公園内の復元草葺竪穴建物の解体・撤去工事了。 ・AR・VRコンテンツ作成の業務委託中 ・公園内の景観支障木の伐採業務委託について、発注準備中。	39,290千円	54,462千円
157	埋蔵文化財遺物整理事業	発掘調査により出土した遺物の整理・保管を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●			○		・旧恵曇公民館を正式に収蔵施設として利用するにあたり最低限必要な消防設備ならび電源の整備に必要な修繕を公共建築課の協力を得て、令和4年度から開始しており、年度末に完了予定である。	9,764千円	6,990千円
158	埋蔵文化財分布試掘調査事業	遺跡の有無や範囲を確認するための試掘調査を行うとともに、重要遺跡の内容確認を行う。また埋蔵文化財の調査で出土した脆弱遺物について保護、活用のため保存処理を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●			○		・試掘16件、分布調査30件実施。(令和5年8月末時点)・報告書作成スケジュール計画通り。・保存処理契約手続き中(9月引渡し、3月処理完了し、引取り。)	17,810千円	19,848千円
159	松江市文化財保存活用地域計画推進事業	「松江市文化財保存活用地域計画」の推進を図る。松江市文化財保存活用地域計画協議会の開催、「松江の歴史集」のWEB公開などを行う。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●	●	○		・「松江市文化財保存活用地域計画ヒストリー集」として水に関するヒストリー、ものづくりに関するヒストリーを編集。	4,649千円	5,117千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない				
160	国宝松江城天守石垣変位観測事業	「松江城天守保存活用計画」及び「国宝松江城天守耐震補強工事基本計画」に基づき、石垣の変位観測などを実施することにより、その成果を今後の安全対策に活用する。	文化スポーツ部		●	●	●									○		・令和5年度から「松江城・城山公園管理」の中で実施。	498千円	—
161	国宝松江城天守防災施設等整備事業	松江城天守の防火設備は、平成2年度までに整備・改修したもので老朽化が進んでいることから、全面的な更新を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●								○		・今年度から来年度にかけて工事を実施する予定。	216,000千円	348,514千円
162	地域の文化財調査・発信事業	「松江市文化財保存活用地域計画」に基づき、公民館単位での文化財調査を公民館、地域住民と共に行い、その成果を刊行物などを通じて発信する。	文化スポーツ部			●	●	●	●							○		・「文化財保存活用地域計画」に基づき松江市域の古文書所在確認調査を遂行している。 ・HPやX(旧:Twitter)で歴史情報を随時発信しており、「松江市歴史叢書」「松江市歴史史料集」などの刊行物も編集 中。	9,272千円	9,683千円
163	文化財情報デジタル化推進事業	「松江市文化財保存活用地域計画」に基づき、文化財情報のデジタル化を推進し、市民をはじめとするより多くの人に松江の文化財の魅力伝えると共に、文化財行政におけるデジタル人材の育成も図る。具体的には、連携協定を結ぶ同志社大学文化遺産情報科学調査研究センターとの共同研究により松江城天守VRソフトの作成等を行う。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●					○		・試行運用を踏まえて松江歴史館で本格運用が始まった。	864千円	2,298千円
164	国宝松江城調査研究事業	調査研究を通じて、松江城の学術的価値を高めるとともに、その成果を各種出版物の刊行などを通じて積極的に情報発信を行う。 松本市、犬山市と共に、近世城郭天守群の世界文化遺産登録を目指して共同研究を進める。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●							○		・4月14日に中国筋本城・支城検討会を開催した。 ・7月18日に城郭史部会を開催した。 ・10月6日に松江城調査研究委員会を開催した。 ・松江城調査研究委員会委員による個別調査。	14,394千円	13,624千円
165	松江城・城山公園整備	城山公園の便益施設の更新や、公園の環境整備を行い、文化財・都市公園としての魅力向上を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●					●	●		○		・興雲閣腐朽柱及び内部壁修理工事 ・二之丸下ノ段休憩施設雨樋補修工事 ・本丸転落防止柵取替工事	11,175千円	17,248千円
166	松江城愛護活動支援事業	令和2年5月15日に設立された市民団体「松江城を守る会」の活動支援を行う。(同会活動方針:①松江城を守り伝える機運醸成活動、②松江城に関わる各団体のネットワーク化の促進)	文化スポーツ部		●	●	●	●					●	●	●	○		・補助金を概算払い済み。	200千円	—
167	文化財関係書籍製作	松江の歴史・文化についてわかりやすく紹介する「松江市ふるさと文庫」の制作を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●							○		・『松江市ふるさと文庫34』、『松江市ふるさと文庫35』の原稿執筆中。	1,601千円	1,513千円
168	松江城・城山公園管理運営	国宝松江城天守を含む城山公園の維持管理・運営、活用を行う。【指定管理者制度適用】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●							○		・城山公園の管理・運営 ・大手前広場転落防止柵修繕 ・天守閣スポットライト取替 ・城山公園道路支障木剪定・伐採 ・ナラケモドキ病対策薬剤防除 ・城山公園松くい虫防除樹幹注入	3,875千円	5,825千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない			
169	興雲閣管理運営	県指定文化財である興雲閣の維持管理・運営、活用を行う。【指定管理制度適用】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●	●			○		・指定管理者による興雲閣の管理、施設の修繕 ・多目的便所便座修繕 ・カーテンクリーニング	618千円	660千円
170	松江歴史館管理運営	松江の歴史及び文化に関する資料の収集、保存、調査研究、展示とともに学習活動の場を提供する松江歴史館の管理運営を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●			○		・1月末までの松江歴史館の入館者数は87,181人、観覧者数は39,486人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を10回行った。 ・松江歴史館ニューズレター「MATSUR EKI」を1回刊行した。 ・市立小学6年生等に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を34校行った。 ・松江市内の歴史に興味がある小学5・6年生を対象に、松江城や歴史館の裏側を見学する「めざせ！お城マスター！」を4回行った。 ・名誉館長講座を9回行った。	91,852千円	92,493千円
171	松江歴史館資料取得事業	松江の歴史や文化に関わる財産を後世に引き継ぐため、貴重な資料は購入などによって取得するとともに、収蔵環境を良好に保ち、資料を適切に保管し活用する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●	●			○		・資料の寄贈・寄託・資料の購入を行った。(寄贈資料25件、寄託資料9件、購入資料3件)	2,606千円	2,610千円
172	松江歴史館調査・研究事業	魅力ある展覧会とするため、翌年度以降に開催する展覧会の調査研究を行い、その成果を研究紀要や講演会で広く伝える。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				○		・『松江歴史館研究紀要 第12号』の制作を行っている。	836千円	903千円
173	松江歴史館展示企画事業	松江の歴史や文化を市民や観光客に知っていただくため、松江に深く関わりのあるテーマを題材とした展覧会を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●	●			○		・1月末までに、4回の企画展を行っている。 ①企画展「出雲国の白隠・大雅・風外一往來する禅と書画一」 ②企画展「松江市小学校開校150年 みんなの小学校150年のあゆみ」 ③特別展「漆壺斎と勝軍木庵－花開く松江の漆文化－」 ④館藏品展「明治時代のサムライたち－松江藩士の行く末－」	15,621千円	18,386千円
174	松江ホーランエンヤ伝承館管理運営	水都松江市が誇るホーランエンヤを保存伝承し、その素晴らしさを広く伝える松江ホーランエンヤ伝承館の管理運営を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				○		・1月末までで、松江ホーランエンヤ伝承館の入館者数は5,178人だった。	4,952千円	5,932千円
175	ふるさと教育推進事業	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小中学校で実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●		●				○		・令和5年7月21日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金の配布完了。令和5年度市内全小・中・義務教育学校において事業実施。	4,030千円	4,030千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない				
176	「ふるさと松江」学習推進事業	小学校3・4年生の社会科で行うことになっている地域学習において活用する副読本「わたしたちの松江」のデータ化を行い、児童がタブレットを活用して見ることができるようにする。そこにリンク先を添付することで学びを広げたり、音や映像で学びを深めたりする。	教育委員会		●	●	●	●	●	●						○	●	・冊子のデータをPDFにして、タブレットで読むことができるようにした。特に使いにくさについての問い合わせもなく使用できている。	66千円	66千円
177	総合的・体験的な学習充実事業	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●	●						○	●	・各校の計画に沿って、順調に実施されている。	2,121千円	1,621千円
178	歴史が結ぶサマースクール事業	市内の小学校と義務教育学校の6年生(希望者)を対象に、「堀尾吉晴公」生誕の地である愛知県大口町(姉妹都市)を訪問し、ゆかりの地等をめぐりながらふるさと松江との歴史的なつながりを体感する体験的な学習プログラムを実施する。	教育委員会			●	●	●	●							○	●	・8月24日の大口町児童の訪問にあわせて、松江市の児童との交流を実施。大口町訪問・交流は12月9日～10日に実施。訪問児童によるプレゼン成果発表会を2月17日に計画。	2,135千円	2,210千円
179	「夢☆未来」ふるさと・キャリア教育推進事業	学校・家庭・地域が連携したキャリア教育の推進を図るほか、「松江城授業プロジェクト」と称し、ふるさと教育の充実を図るため、市内すべての小学校と義務教育学校の6年生が「松江城」「松江歴史館」に実際に行って本物を体験する。	教育委員会		●	●	●	●	●	●						○	●	・12月までにすべての学校が実施済。	3,767千円	4,673千円
180	美保関歴史生活体験資料館運営事業	美保関歴史生活体験資料館の管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●						○	●	・運営業務委託先:松江市美保関歴史・生活体験活動推進協議会 ・市内の小中学生等の体験学習の受け入れを行っている 利用件数 3件 利用者数 112人	2,334千円	2,385千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)																		
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない																					
【柱2】地域に根づく伝統文化																			事業数23事業（うち、新規事業4事業）																		
201	中海振興事業	中海や中海周辺における文化振興、水産振興、農業振興などに取り組むため策定した「松江市中海振興ビジョン」を推進し、中海周辺の地域振興に取り組む。	政策部	★			●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・中海振興ビジョンの行動計画である「アクションプラン」の策定に向けて、照会文書を発出。R5年度中に「アクションプラン」を策定予定。	3,445千円	1,506千円																	
202	地域花火実証事業	地域花火の開催を支援することで、地域の賑わい創出や地域コミュニティ活性化にもたらす効果等を検証し、今後の地域花火のあり方について検討する。	観光部	★			●	●	●		●		●	●	○		・松江市内で開催する地域の花火大会を支援し、地域の賑わい創出や地域コミュニティの維持に対してもたらす効果等を検証する。 ・補助対象経費の10分の10以内の額（未滿切捨て）とし、200。 ・13件申請。13件交付決定。	4,000千円	4,000千円																		
203	全国榎サミット開催事業	榎の魅力を確認して榎による地域振興のために、令和6年3月9・10日に第34回全国榎サミット松江大会を開催する。	文化スポーツ部	★			●		●	●	●	●	●	●	○		・全国榎サミット松江大会特設ホームページを開設し、ホームページ上ではサミット関連情報を掲載するとともにフォトコンテストの募集を実施している。 ・各種事業者や市民団体との連携による、当日一般来場者向けイベント等を企画している。（榎の開発・販売、榎をモチーフにした工芸作品の展示・販売、榎関連商品のPR・販売、文化体験イベントなど） ・サミットの認知度向上のため、タレントの「榎鬼奴」氏を招いたプレイベントを開催予定。	8,845千円	—																		
204	SNS等による情報発信推進事業【再掲】	多種多様な伝統文化芸術を誰もが興味を持てるように、文化・スポーツ関係イベントを約1分程度のニュース動画にわかりやすくまとめ、年間を通じてYouTubeやSNS等で発信する。	文化スポーツ部	★			●	●			●				○		・9月以降に開催をした下記のイベントについて、会場の様子等を約1分間にまとめYouTubeにて配信をした。 【ニュースを作成したイベント】 ・第51回松江市民美術展、第57回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト、小泉八雲記念館企画展、松江祭襲行列、松江歴史館企画展(2件)、第40回松江城大茶会、第1回市民で国宝松江城天守の床磨き、松江市歴史のまち歩き～白湯～、国宝松江城マラソン2023、第45回まつえレディースハーフマラソン、全国榎サミット松江大会	2,452千円	2,452千円																		
207	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部				●	●	●	●	●	●		●	○		【松江の文化力体験推進事業】 ・11の教室を開催し、計362人の親子が本市の誇る伝統文化や文化芸術を体験する機会を創出した。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・7月に自治会を通じて、全市にチラシを回覧し、5つの団体から補助金申請を受けた。	5,763千円	4,763千円																		

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない			
208	郷土芸能継承発展事業	地域伝統芸能祭の開催や保存団体などの支援を通して、伝統芸能文化の継承の機運を高める。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●					○	<ul style="list-style-type: none"> 本市の伝統行事の保護育成を目的とする「松江市伝統芸能文化保護育成協議会(加盟23団体)」に対し、啓発・発信にかかる取り組みや後継者の確保・育成に繋がる事業等の活動支援を実施。 令和5年7月27日に代表者会議を実施した。 加盟団体の活動内容等をPRするため、各加盟団体を紹介するパンフレットを作成中。 	920千円	3,720千円
210	佐陀神能用具等修理・新調事業【再掲】	佐陀神能で使用している面、衣装、用具等の老朽化が激しいことから、佐陀神能保存会が行う、文化庁の補助金を活用した修理・新調事業の支援をする。	文化スポーツ部		●	●	●	●			●					○	<ul style="list-style-type: none"> 「佐陀神能民俗文化財調査報告書(令和2年度)」をもとに、令和3年度から佐陀神能保存会が実施する修理・新調事業に対し支援を実施。令和5年度は3カ年事業の最終年の予定であったが、文化庁補助事業分のうち3面の完成が間に合わないため、令和6年度に繰り越して実施をする。 ■文化庁事業分 当初は計6点(面:6点)の復元新調を予定。うち3点は完成予定。残りの3面は令和6年度に繰り越して実施。 ■松江市単独事業分 計52点(衣装:41点、道具:11点)の復元新調を予定している。 	11,305千円	448千円
211	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●					○	<ul style="list-style-type: none"> ■審議会 第1回審議会:10月17日開催 第2回審議会:3月25日開催予定 ■庁内連絡会 ・必要に応じて開催をする予定 ■「令和6年度版松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画」を策定予定 	648千円	1,261千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない			
212	郷土行事等振興事業	松江祭行列及び菊花展を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●					○	<p>【行列】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月15日に「松江祭行列」、前日の14日には前夜祭として「宵宮」を開催した。今年度は、コロナで中止となっていた「餅まき」や「フォトコンテスト」を開催した。 参加団体:16団体 参加者数:1,700人 観覧者数:約85,000人 ・行列保存会へ補助金交付。 ・餅まき開催補助金を支出。 ・町内・団体への修繕補助金を、4町内・団体に交付。 <p>【菊花展】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月28日～11月12日にかけて、松江城馬溜り広場にて開催。昨年度に引き続き、松江農林高校からの出品や、初めてとなる大根島牡丹とのコラボ展示を実施した。 出品数:約500鉢 来場者数:約71,000人 	13,700千円	13,454千円
214	ジオパーク推進事業【再掲】	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●					○	子ども向け体験イベントをはじめ、定時ガイドによるツアーや研修会等、様々な活動により目標値に近い入込客数があった。	10,709千円	10,935千円
215	わがまち自慢発掘プロジェクト事業【再掲】	公民館区毎に作成した地域の“お宝”を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●					○	・令和4年度に「まち歩きマップ」を改訂増刷した2地区をはじめ、8地区(大庭・本庄・法吉・乃木・大野・宍道・城北・白湯)で「まち歩き」を実施。(5月～11月)合計198名の参加があった。	1,108千円	1,130千円
216	松江ホーランエンヤ伝承館管理運営【再掲】	水都松江市が誇るホーランエンヤを保存伝承し、その素晴らしさを広く伝える松江ホーランエンヤ伝承館の管理運営を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●						○	・1月末までで、松江ホーランエンヤ伝承館の入館者数は5,178人だった。	4,952千円	5,932千円
217	郷土行事等振興補助金	地域の活性化と地域住民の親睦と郷土愛を育み、豊かなまちづくりに資するため各種イベントを計画実施する実行委員会に対し、助成を行う。 ・恵曇伝統行事 ・御津みなと祭り	市民部			●	●	●	●	●	●					○	【恵曇伝統行事】 まだコロナ感染者が出ているため神事以外の行事は中止となった。 【御津みなと祭り】 R5から観光部で支援。	202千円	202千円
218	郷土民謡振興補助金	正調「関乃五本松節」を保存するとともに普及・振興に努め、文化の発展に寄与することを目的として活動を行っている関乃五本松節保存会に補助金を交付する。	市民部		●	●	●	●	●	●	●					○	・6月から11月の間、後継者育成事業として、美保関中学校にて、ふるさと教育を15回実施した。 ・11月11日に、関乃五本松節保存会創立100周年記念事業を開催し、新しい歌詞の特選者発表及び表彰並びに披露を行った。	1,500千円	1,000千円
219	地域伝統文化継承推進	学校教育において、卒業する児童・生徒に地域に伝わる古き良き伝統や文化に触れる機会を提供することにより、伝統や文化への関心を深めるとともに、それらを大切にしようとする心を育み、かつ地域伝統の継承を図ることを目的として、卒業するもの自らが、地域に伝わる紙すきを行い、卒業証書を作成する。	市民部		●	●	●	●		●	●					○	・八雲小・八雲中卒業生120名が10月と11月に自らの卒業証書の紙すきを行った。	288千円	303千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない			
220	宍道地域郷土行事等振興補助金	松江観光協会宍道町支部(主に実行委員会方式)が実施または支援する『宍道夏祭り協賛事業』、『宍道そば祭り』、『きまち川まつり』等に対する事業に補助金を交付する。	市民部		●	●	●	●	●	●	●					○	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスも第5類となり宍道れんげ祭(湖上花火等)を4年振りに露店も出店する中、盛大に開催できた。 ・きまち川まつりについては、宍道鼓動芸術祭のオープニングイベントとして実施されたため、他の補助金で支援された。 ・宍道そば祭りは廃止となった。 	2,335千円	2,335千円
221	ふるさと教育推進事業【再掲】	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小中学校で実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●	●						○	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年7月21日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金の配布完了。令和5年度市内全小・中・義務教育学校において事業実施。 	4,030千円	4,030千円
222	「ふるさと松江」学習推進事業【再掲】	小学校3・4年生の社会科で行うことになっている地域学習において活用する副読本「わたしたちの松江」のデータ化を行い、児童がタブレットを活用して見ることができるようにする。そこにリンク先を添付することで学びを広げたり、音や映像で学びを深めたりする。	教育委員会		●	●	●	●	●	●						○	<ul style="list-style-type: none"> ・冊子のデータをPDFにして、タブレットで読むことができるようにした。特に使いにくさについての問い合わせもなく使用できている。 	66千円	66千円
223	総合的・体験的な学習充実事業【再掲】	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●	●						○	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の計画に沿って、順調に実施されている。 	2,121千円	1,621千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)																		
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない																					
【柱3】市民生活に根づく茶の湯文化																			事業数28業（うち、新規事業4事業）																		
301	職業体験イベント開催支援事業	子どもを対象に、和菓子職人によるデモンストラーションや八雲塗りの絵付け体験などを行う職業体験イベントの開催を支援する。	産業経済部	★			●	●	●	●	●						○	子ども向け職業体験イベントを開催 ・イベント名:おしごと体験KIDSフェス ・開催日:11月19日(日) ・会 場:松江市総合体育館 ・対 象:小学3年生～6年生 ・参加者:約700人	8,000千円	10,000千円																	
302	SNS等による情報発信推進事業【再掲】	多種多様な伝統文化芸術を誰もが興味を持てるように、文化・スポーツ関係イベントを約1分程度のニュース動画にわかりやすくまとめ、年間を通じてYouTubeやSNS等で発信する。	文化スポーツ部	★			●	●			●						○	・9月以降に開催をした下記のイベントについて、会場の様子等を約1分間にまとめYouTubeにて配信をした。 【ニュースを作成したイベント】 ・第51回松江市民美術展、第57回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト、小泉八雲記念館企画展、松江祭襲行列、松江歴史館企画展(2件)、第40回松江城大茶会、第1回市民で国宝松江城天守の床磨き、松江市歴史のまち歩き～白湯～、国宝松江城マラソン2023、第45回まつえレディースハーフマラソン、全国椿サミット松江大会	2,452千円	2,452千円																	
303	全国椿サミット開催事業【再掲】	椿の魅力を再確認して椿による地域振興のために、令和6年3月9・10日に第34回全国椿サミット松江大会を開催する。	文化スポーツ部	★			●		●	●	●	●	●	●			○	・全国椿サミット松江大会特設ホームページを開設し、ホームページ上ではサミット関連情報を掲載するとともにフォトコンテストの募集を実施している。 ・各種事業者や市民団体との連携による、当日一般来場者向けイベント等を企画している。(椿菓の開発・販売、椿をモチーフにした工芸作品の展示・販売、椿関連商品のPR・販売、文化体験イベントなど) ・サミットの認知度向上のため、タレントの「椿鬼奴」氏を招いたプレイベントを開催予定。	8,845千円	—																	
304	明々庵及び赤山茶道会館保存活用事業	明々庵及び赤山茶道会館について、老朽化、故障した施設を、計画的に修繕する。	文化スポーツ部	★	●	●	●				●						○	・明々庵外壁漆喰修繕工事等、施設の適切な管理に向けて、現状把握、県文化財課との協議等を実施し、工事を実施した。四ツ目垣等の工事について、年度内完了予定である。	2,698千円	—																	
305	松江そば文化ブランド化推進事業	「松江の出雲そば」の歴史や文化を広くPRすることで認知度向上を図り、ブランド化を進めることで、観光誘客や地元産そばの生産拡大を目指す。	産業経済部			●	●	●	●	●	●						○	・10/23 松江そば文化スランド化推進協議会総会開催 ・「松江松平そば」の更なるブランド化の検討 ・「出雲そば」PRの推進 首都圏での蕎麦打ち体験教室(11月) そば店向けSNSセミナー(1月) 市民向けセミナー(2月予定) インフルエンサーによるSNS発信(3月予定)	1,750千円	1,000千円																	
306	職人商店街創出事業	中心市街地に、松江が誇る漆器、陶器、民芸紙、めのう細工などの伝統工芸店や、和菓子づくり、茶の湯、そば打ちなどが体験できる飲食店が軒を連ね、優れた職人の技とまちの活気が感じられる賑わいの拠点の創出を目指す。	産業経済部		●	●	●	●	●		●						○	・職人商店街創出支援事業補助金(申請件数)1事業者(交付決定額)1,014(新規相談)1件	15,000千円	12,500千円																	

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない			
307	松江工芸品の魅力発信と担い手育成事業	手仕事の価値に光を当て、国内外に発信することで、若い世代の希望を生み出す個性豊かで地域の特色を生かした産業と雇用の創出を図る。	産業経済部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・関西の百貨店での販売展示を経験。 ・クラフトフェア「CRANUMA(クラヌマ)」を12月に開催。	4,900千円	512千円
308	地域ブランドPR・販路拡大対策事業	首都圏において松江市の特産品の販売や工芸品の展示等を通して、広く「松江市」をPRするとともに、観光誘客や製品の販路開拓・消費拡大に繋げていく。	産業経済部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		首都圏における松江特産品フェア(令和5年10月3-4日)を開催し、実績として来場者2800人・総売上290万円を記録した。	1,851千円	1,787千円
309	地域ブランド産地育成事業	松江産農産物のブランド化や高付加価値化を支援し、安定的な農業経営を実現する。	産業経済部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・【そば】作付け面積110ha 天候等での影響は少なく、昨年より収量は多くなる見込み(令和6年1月) ・【大豆】作付面積45ha 高温が続いた影響で、収量が減少する見込み(令和6年1月) ・【西条柿】例年並みの収量の見込み(令和6年1月)	9,530千円	6,490千円
310	松江市伝統産業支援事業	市内事業所に従事する優秀な技能者を表彰する。	産業経済部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	・選考委員の任期が2年間(令和3年10月～令和5年9月)であったため、前任期と同数の10名を新たに委員として委嘱した。 ・令和5年11月に松江市手作り産業優良技能者表彰式を実施し、今年度は功労賞1名・奨励賞4名の計5名を表彰した。 ・表彰者の作品を以下のとおり展示した。 ・中央図書館エントランスホール 令和5年11月～令和6年1月 ・新庁舎市長室横ショーケース 令和6年2月～4月	521千円	531千円
311	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		【松江の文化力体験推進事業】 ・11の教室を開催し、計362人の親子が本市の誇る伝統文化や文化芸術を体験する機会を創出した。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・7月に自治会を通じて、全市にチラシを回覧し、5つの団体から補助金申請を受けた。	5,763千円	4,763千円
312	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		■審議会 第1回審議会:10月17日開催 第2回審議会:3月25日開催予定 ■庁内連絡会 ・必要に応じて開催をする予定 ■「令和6年度版松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画」を策定予定	648千円	1,261千円
313	明々庵及び赤山茶道会館管理運営	松江市茶道文化施設(明々庵(県指定文化財)・赤山茶道会館)の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・適正な管理運営を行っている。 ・利用者数:13,832人(1月末時点)	12,288千円	17,880千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない			
314	茶の湯文化振興	茶の湯の日イベント、茶道未経験者や子どもを対象に茶道を体験する「松江藩ちやのゆの学校」、食文化シンポジウムなどを開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●			○		・4月22日及び23日、10月21日及び22日にイオン松江店で茶の湯体験と和菓子づくり体験、和菓子販売を開催し、4月は708人、10月は735人が参加した。 ・4月24日にかけて、学校給食で抹茶特別メニュー(抹茶プリンなど)を提供した。 ・「松江城大茶会」を10月28日、29日の2日間開催。	3,251千円	3,391千円
316	ジオパーク推進事業【再掲】	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		子ども向け体験イベントをはじめ、定時ガイドによるツアーや研修会等、様々な活動により目標値に近い入込客数があった。	10,709千円	10,935千円
317	わがまち自慢発掘プロジェクト事業【再掲】	公民館区毎に作成した地域の“お宝”を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・令和4年度に「まち歩きマップ」を改訂増刷した2地区をはじめ、8地区(大庭・本庄・法吉・乃木・大野・宍道・城北・白湯)で「まち歩き」を実施。(5月～11月)合計198名の参加があった。	1,108千円	1,130千円
318	史跡及び名勝菅田庵維持管理【再掲】	史跡及び名勝菅田庵の維持管理を行う。維持管理に要した実費の一部は所有者が負担し、また県から指定面積に応じて定額の補助金が支給される。なお、既指定地については、従来どおり所有者が維持管理を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・令和4年度と同様に、管理団体として追加指定地の維持管理を実施している。	4,616千円	4,616千円
320	松江歴史館管理運営【再掲】	松江の歴史及び文化に関する資料の収集、保存、調査研究、展示とともに学習活動の場を提供する松江歴史館の管理運営を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・1月末までの松江歴史館の入館者数は87,181人、観覧者数は39,486人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を10回行った。 ・松江歴史館ニューズレター「MATSUR EKI」を1回刊行した。 ・市立小学6年生等に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を34校行った。 ・松江市内の歴史に興味がある小学5・6年生を対象に、松江城や歴史館の裏側を見学する「めざせ！お城マスター！」を4回行った。 ・名誉館長講座を9回行った。	91,852千円	92,493千円
321	松江歴史館資料取得事業【再掲】	松江の歴史や文化に関わる財産を後世に引き継ぐため、貴重な資料は購入などによって取得するとともに、収蔵環境を良好に保ち、資料を適切に保管し活用する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・資料の寄贈・寄託・資料の購入を行った。(寄贈資料25件、寄託資料9件、購入資料3件)	2,606千円	2,610千円
322	松江歴史館展示企画事業【再掲】	松江の歴史や文化を市民や観光客に知っていただくため、松江に深く関わりのあるテーマを題材とした展覧会を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・1月末までに、4回の企画展を行っている。 ①企画展「出雲国の白隠・大雅・風外一往来する禅と書画―」 ②企画展「松江市小学校開校150年 みんなの小学校150年のあゆみ」 ③特別展「漆壺斎と勝軍木庵―花開く松江の漆文化―」 ④館蔵品展「明治時代のサムライたち―松江藩士の行く末―」	15,621千円	18,386千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない			
323	伝統工芸品育成事業	松江市の伝統的工芸の振興に関する事業(八雲町伝統的和紙製造技術の伝承、普及)を支援し、伝統的工芸の普及と育成を図る。	市民部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・ワークショップを年5回実施した。市民の方に紙漉きをしてもらい、その和紙にシルクスクリーン印刷するワークショップを行った。	406千円	406千円
324	宍道地域伝統工芸品育成事業	宍道地域で主に生産される、国の指定する伝統的工芸品「来待石灯ろう」産業の振興のため、来待石灯ろう協同組合が行う新製品開発、展示会参加費、後継者育成等に補助を行い地域の伝統産業の発展を図る。	市民部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・島根県産業技術センターと共同で来待石のヒートアイランド対策の効果を継続して研究中。 ・小中学校での職人指導による体験は、7月に安来市赤屋小で実施。 9月、10月、11月、2月に市内小学校及び高校でも実施予定。 ・伝統的工芸品産業振興協会主催の「匠市」で新商品を出展。 ・松江市ふるさと納税の商品を3点追加登録。 ・4月に松江市へ海外への灯ろう輸出について面談及び報告。	249千円	249千円
325	ふるさと教育推進事業【再掲】	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小中学校で実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・令和5年7月21日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金の配布完了。令和5年度市内全小・中・義務教育学校において事業実施。	4,030千円	4,030千円	
326	「ふるさと松江」学習推進事業【再掲】	小学校3・4年生の社会科で行うことになっている地域学習において活用する副読本「わたしたちの松江」のデータ化を行い、児童がタブレットを活用して見ることができるようにする。そこにリンク先を添付することで学びを広げたり、音や映像で学びを深めたりする。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・冊子のデータをPDFにして、タブレットで読むことができるようにした。特に使いにくさについての問い合わせもなく使用できている。	66千円	66千円	
327	総合的・体験的な学習充実事業【再掲】	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		各校の計画に沿って、順調に実施されている。	2,121千円	1,621千円	
328	出雲かんべの里運営事業	出雲かんべの里の管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・特定非営利活動法人八雲総合サービス協会指定管理利用者数20,916人(民話館2,389人、工芸館1,5962人、かんべ茶屋2,565人)	41,911千円	42,600千円	

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)		
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない					
【柱4】小泉八雲が五感で感じた松江の生活文化																			事業数29事業（うち、新規事業3事業）		
401	小泉八雲旧居保存活用事業【再掲】	・旧居公開に向けた保存活用計画策定準備 ・事務・事業委託（樹木管理）	文化スポーツ部	★			●	●	●							●	○	・施設の非公開部分の活用に向けた整理を含め、保存活用計画の策定をする必要がある。 ・保存活用計画策定に向けて、関係各所（文化庁、県等）協議を進めている。	904千円	8,514千円	
402	小泉八雲記念館保存活用事業	・記念館と旧居を一体的に整理し、小泉八雲の調査研究拠点として施設のあり方を検討する。	文化スポーツ部	★			●									●	○	・2016年のリニューアルオープン以降6年が経過し、展示映像音響設備のオーバーホール等実施する必要がある。年度未完了に向けてオーバーホール等実施中。	7,813千円	—	
403	SNS等による情報発信推進事業【再掲】	多種多様な伝統文化芸術を誰もが興味を持てるように、文化・スポーツ関係イベントを約1分程度のニュース動画にわかりやすくまとめ、年間を通じてYouTubeやSNS等で発信する。	文化スポーツ部	★			●	●								●	○	・9月以降に開催をした下記のイベントについて、会場の様子等を約1分間にまとめYouTubeにて配信をした。 【ニュースを作成したイベント】 ・第51回松江市民美術展、第57回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト、小泉八雲記念館企画展、松江祭実行列、松江歴史館企画展(2件)、第40回松江城大茶会、第1回市民で国宝松江城天守の床磨き、松江市歴史のまち歩き～白湯～、国宝松江城マラソン2023、第45回まつえレディースハーフマラソン、全国椿サミット松江大会	2,452千円	2,452千円	
404	「怪談のふるさと松江」事業	「松江怪喜宴」(①松江怪談談義と②酒林堂八雲)の開催について、補助金を交付する。	観光部			●	●	●	●	●						●	○	・10月27日(金)に「松江怪談談義8」、28日(土)、29日(日)に「酒林堂八雲2023」を実施した。	2,200千円	2,200千円	
405	潜戸観光遊覧船更新事業【再掲】	(一社)加賀潜戸遊覧船が所有する船2艘の老朽化が進行し、新しいものでも30年が経過している状況にある。遊覧船更新により観覧受入環境を整え、ジオパークの推進に繋げるもの。	観光部				●	●	●							●	○	・5月に国土交通省の安全対策を踏まえた仕様の遊覧船の入札を行い、造船業者を決定した。	39,000千円	38,600千円	
406	潜戸観光遊覧船運営費補助金【再掲】	島根半島東部地域の景勝地である加賀潜戸を間近で観覧できる遊覧船の運行管理体制を整えることで、観光事業の振興発展を図る。	観光部			●	●	●	●	●						●	○	・毎月計画通り補助金の支払を行っている。	7,500千円	7,500千円	
407	アイルランド交流事業	アイリッシュフェスティバル in Matsue実行委員会への補助金を交付するほか、在アイルランド日本大使館の協力による松江のPRなどを行う。	観光部			●	●	●	●	●						●	○	・3月にアイリッシュ・フェスティバル in Matsueを開催予定。	1,155千円	1,165千円	
408	ニューオーリンズ交流事業	松江ニューオーリンズ・フェスティバル実行委員会への補助金交付を行う。	観光部			●	●	●	●							●	○	・10月に松江ニューオーリンズ・フェスティバルを開催した。	760千円	760千円	

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない			
409	山陰日本アイランド協会事業補助金	松江市民に対し、様々なアイランド文化紹介事業を実施し、松江市事業の補完的な役割を果たしている山陰日本アイランド協会に対し、補助金を交付する。	観光部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・特に無し(補助事業であり、市としての事業実施は無し。)	62千円	62千円
410	多文化共生推進事業	外国人住民支援のほか、国際交流イベントや国際理解講座等を行う。	観光部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・生活相談窓口を設置し、相談対応や生活相談会などを実施した。 ・外国人住民向け消防訓練、交通安全講座や、日本語教室と連携した交流事業を実施した。	518千円	687千円
411	小泉八雲旧居管理運営【再掲】	小泉八雲旧居(国指定史跡)の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数:25,723人(1月末時点)	3,552千円	5,687千円
412	小泉八雲記念館管理運営【再掲】	小泉八雲記念館の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数:55,563人(1月末時点)	24,030千円	35,318千円
413	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		■審議会 第1回審議会:10月17日開催 第2回審議会:3月25日開催予定 ■庁内連絡会 ・必要に応じて開催をする予定 ■「令和6年度版松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画」を策定予定	648千円	1,261千円
414	スピーチコンテスト事業	松江を世界に紹介した文豪・小泉八雲の偉大な業績をたたえ、八雲の作品を英語で暗唱するコンテストを開催する。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・9月24日「第57回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト」を開催。(参加者:ジュニアの部19名/シニアの部10名)	1,621千円	1,117千円
415	顕彰団体育成補助金	小泉八雲の顕彰団体である八雲会が行う機関紙「へるん」の発行事業に対し、補助金を交付する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・補助金を交付した八雲会が機関紙「へるん」を発刊した。	110千円	110千円
416	作品普及事業	小泉八雲の作品を対象とする感想文、詩の募集を行うもの。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・令和6年1月5日を締切に、「小泉八雲をよむ」感想文・詩の募集を行った。	290千円	292千円
417	子ども塾スーパーへるんさん講座事業	八雲に学び、松江や日本の文化を五感で感じることにより、子どもたちならではの視点での「松江」の新たな魅力の発見・創出につなげる。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・古江小学校で、子ども塾スーパーへるんさん講座を開催した。(受講児童数42名)	193千円	296千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない				
419	朗読のしらべ開催事業	松江市出身の俳優・佐野史郎氏の朗読とギタリスト・山本恭司氏の音楽により小泉八雲の作品の世界観を表現するコラボプログラムを開催する。	文化スポーツ部			●	●	●	●							○		・11月11日に松江テルサにおいて「朗読のしらべ」を開催。	2,318千円	1,069千円
420	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●					○		【松江の文化力体験推進事業】 ・11の教室を開催し、計362人の親子が本市の誇る伝統文化や文化芸術を体験する機会を創出した。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・7月に自治会を通じて、全市にチラシを回覧し、5つの団体から補助金申請を受けた。	5,763千円	4,763千円
421	ジオパーク推進事業【再掲】	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●					○		子ども向け体験イベントをはじめ、定時ガイドによるツアーや研修会等、様々な活動により目標値に近い入込客数があった。	10,709千円	10,935千円
422	わがまち自慢発掘プロジェクト事業【再掲】	公民館区毎に作成した地域の“お宝”を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●					○		・令和4年度に「まち歩きマップ」を改訂増刷した2地区をはじめ、8地区(大庭・本庄・法吉・乃木・大野・宍道・城北・白湯)で「まち歩き」を実施。(5月～11月)合計198名の参加があった。	1,108千円	1,130千円
423	鹿島歴史民俗資料館管理運営【再掲】	鹿島歴史民俗資料館の管理・運営及び発掘調査に伴う出土品の特別展示や佐太神社を中心とした由緒ある文化財のほか、佐陀神能に関する資料、増田渉と魯迅関連資料等の保存・伝承や有効活用を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●					○		・企画展「海上の覇者 奥才古墳群」を開催。 ・特別展「茶色い戦争ありました一軍事郵便と鹿島の戦争」を開催。	12,102千円	11,627千円
424	出雲玉作資料館管理運営【再掲】	全国唯一の玉作り資料館として、「古代の玉作り」を柱に、「近代めう細工」、「布志名焼の歴史」等の常設展示を行うとともに、企画展等を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●					○		・春季企画展「福島窯と本船木窯～江戸期から続いた民窯～」を開催 ・夏季企画展「没後10年 松木倭帆のガラス展～玉湯町布志名が生んだ工芸作家～」を開催 ・秋季企画展「手仕事の美～暮らしのなかの布志名焼と生活道具～」を開催。	10,565千円	11,910千円
425	松江歴史館管理運営【再掲】	松江の歴史及び文化に関する資料の収集、保存、調査研究、展示とともに学習活動の場を提供する松江歴史館の管理運営を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●					○		・1月末までの松江歴史館の入館者数は87,181人、観覧者数は39,486人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を10回行った。 ・松江歴史館ニューズレター「MATSUR EKI」を1回刊行した。 ・市立小学6年生等に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を34校行った。 ・松江市内の歴史に興味がある小学5・6年生を対象に、松江城や歴史館の裏側を見学する「めざせ！お城マスター！」を4回行った。 ・名誉館長講座を9回行った。	91,852千円	92,493千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない				
426	ふるさと教育推進事業【再掲】	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小中学校で実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●		●					○		・令和5年7月21日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金の配布完了。令和5年度市内全小・中・義務教育学校において事業実施。	4,030千円	4,030千円
427	「ふるさと松江」学習推進事業【再掲】	小学校3・4年生の社会科で行うことになっている地域学習において活用する副読本「わたしたちの松江」のデータ化を行い、児童がタブレットを活用して見ることができるようにする。そこにリンク先を添付することで学びを広げたり、音や映像で学びを深めたりする。	教育委員会		●	●	●	●	●		●					○		・冊子のデータをPDFにして、タブレットで読むことができるようにした。特に使いにくさについての問い合わせもなく使用できている。	66千円	66千円
428	総合的・体験的な学習充実事業【再掲】	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●		●					○		・各校の計画に沿って、順調に実施されている。	2,121千円	1,621千円
429	美保関歴史生活体験資料館運営事業【再掲】	美保関歴史生活体験資料館の管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●		●					○		・運営業務委託先：松江市美保関歴史・生活体験活動推進協議会 ・市内の小学生等の体験学習の受け入れを行っている 利用件数 3件 利用者数 112人	2,334千円	2,385千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)																		
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない																					
【柱5】市民とともに育む文化芸術活動																			事業数33事業（うち、新規事業1事業）																		
501	SNS等による情報発信推進事業【再掲】	多種多様な伝統文化芸術を誰もが興味を持てるように、文化・スポーツ関係イベントを約1分程度のニュース動画にわかりやすくまとめ、年間を通じてYouTubeやSNS等で発信する。	文化スポーツ部	★			●	●									○		・9月以降に開催をした下記のイベントについて、会場の様子等を約1分間にまとめYouTubeにて配信をした。 【ニュースを作成したイベント】 ・第51回松江市民美術展、第57回ヘルンをたたく青少年スピーチコンテスト、小泉八雲記念館企画展、松江祭実行列、松江歴史館企画展(2件)、第40回松江城大茶会、第1回市民で国宝松江城天守の床磨き、松江市の歴史のまち歩き～白湯～、国宝松江城マラソン2023、第45回まつえレディースハーフマラソン、全国椿サミット松江大会	2,452千円	2,452千円																
502	嫁ヶ島活用事業【再掲】	嫁ヶ島を活用したイベント開催を補助し観光資源として活用・魅力向上を図るとともに、常設ライトアップの維持管理を行う。	観光部		●	●	●	●	●			●		●	●		○		・4月から11月まで、土・日・祝(荒天時を除く)に嫁ヶ島のライトアップを実施した(棧橋工事により、6～8月末まで一時休止)。 ・8月6日(日)に「歩いて渡る嫁ヶ島」を実施。9月23日(土)に「嫁ヶ島万灯会」、10月中旬に「湖上茶会」を実施した。	3,000千円	3,000千円																
503	松江水燈路事業【再掲】	松江の光の景観形成の方針である「光のマスタープラン」に基づき実施する「松江水燈路」を開催することで、城下町松江の夜の賑わいを創出し、滞在型観光客の増を図る。	観光部		●	●	●	●	●				●	●			○		・9月23日から10月15日までの土・日・祝に開催 ・松江城周辺のライトアップ、市民の手作り行燈、堀川遊覧船夜間運航、屋台設置、松江城神楽実施、シャトルバス運行など。	22,000千円	22,000千円																
504	松江武者行列事業	平成15年から堀尾吉晴公とその一行が松江城に入城する様子を再現した市民参加型イベントとして開催。	観光部			●	●	●	●	●	●			●			○		・4月8日(土)に松江武者行列を開催。 ・お城まつりの期間中を「桜と武者のシーズン」と題し、武者行列に関連するイベント等の実施により、春シーズンの帯での誘客を行った。	12,000千円	12,400千円																
505	海の学苑ふるさと創生館管理運営	美保関海の学苑ふるさと創生館(メテオプラザ)の管理運営を指定管理者に委託する。	観光部		●	●	●	●	●			●					○		・管理運営を実施している。	80,489千円	103,225千円																
506	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●					●	○		【松江の文化力体験推進事業】 ・11の教室を開催し、計362人の親子が本市の誇る伝統文化や文化芸術を体験する機会を創出した。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・7月に自治会を通じて、全市にチラシを回覧し、5つの団体から補助金申請を受けた。	5,763千円	4,763千円																
509	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●			●					○		■審議会 第1回審議会:10月17日開催 第2回審議会:3月25日開催予定 ■庁内連絡会 ・必要に応じて開催をする予定 ■「令和6年度版松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画」を策定予定	648千円	1,261千円																

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない			
510	中村元記念館活用事業	インド哲学・仏教学上大変貴重な、松江市に寄贈された3万冊を超える蔵書を文書検索管理システムに分類・入力し、活用していく。また、学術振興を目的とし、学生の論文を対象とする「中村元東洋思想文化賞」の表彰にあたり奨励賞(市長賞)を授与するための負担金を支出する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・文書検索管理システム入力業務	14,993千円	15,609千円
511	文化芸術振興事業	合唱団体の育成、合唱技術の向上を図り、音楽文化の振興を図るため、松江コーラルソサエティの活動を支援する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		【松江コーラルソサエティ育成事業】 ・本市の合唱レベル向上を目的とする松江コーラルソサエティの活動を支援した。 【KaTaCHII開催事業補助】 ・「伝統邦楽の魅力」を伝える舞台(令和5年5月開催)に地元高校生がコラボ出演するための補助を行った。 【松江国際映画祭準備経費】 ・1月13日～14日にかけて、先進地である尾道市の「第7回尾道映画祭2024」の視察を行った。	362千円	670千円
512	国際文化観光都市・松江・森の演劇祭事業	3年に1度開催する松江・森の演劇祭について、補助金を交付する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・令和7年度開催予定の「第8回松江・森の演劇祭」に向けて、準備する必要があるため、松江・森の演劇祭実行委員会に補助金を支出した。	5,000千円	2,500千円
513	市民音楽祭開催事業	松江市民音楽祭を主催する松江市民音楽団体連絡協議会へ補助金を交付する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・11月12日に鹿島文化ホールにて「第52回松江市民音楽祭」の開催。 出演団体:11団体	342千円	342千円
514	市民美術展開催事業	市民から芸術作品を募集し、市民美術展を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・8月31日～9月4日に県立美術館で「第51回松江市民美術展」を開催した。 出品数・・・193点(前年比-4点) 来場者数・・・1,157人(前年比+96人)	2,293千円	2,398千円
515	八雲林間劇場管理運営	八雲林間劇場の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・指定管理事業として公演事業の実施。市内小中学生を対象とした育成事業の実施。 ・海外劇団招聘による観劇の実施。 ・令和6年度からの指定管理事業の見直しを行った。	16,561千円	33,020千円
516	文化協会事業	文化の振興のため、市民文化祭や文化イベント支援、文化情報誌「湖都松江」発行など各種事業を松江市民文化協会へ委託する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・総会を4年ぶりに対面で開催した。 ・9月の発行に向けて「湖都松江46号」の編集作業を進めている。 ・加盟団体助成金の支給を随時実施した。 ・インターネットによる文化情報の提供を行った。	14,727千円	14,523千円
517	ジオパーク推進事業【再掲】	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		子ども向け体験イベントをはじめ、定時ガイドによるツアーや研修会等、様々な活動により目標値に近い入込客数があった。	10,709千円	10,935千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない				
518	鹿島文化ホール・ミュージックフェスタ事業	鹿島文化ホールにおいて実施される音楽イベントへの補助事業。 ・ピアノフェスティバルinかしま ・鹿島ジュニア音楽会	市民部		●	●	●	●	●	●	●					○		・ピアノフェスティバル 令和5年8月26日(土)開催 ・ジュニア音楽会 令和5年12月3日(日)開催	494千円	494千円
519	鹿島文化活動推進事業	鹿島地区における文化活動の推進や地域内交流の推進を図るための文化祭を開催する実行委員会への補助事業。 ・鹿島町民文化祭	市民部		●	●	●	●	●	●	●					○		・令和5年10月28日(土)・10月29日(日)の2日間開催	250千円	250千円
520	島根町地域コミュニティ支援事業	伝統行事、文化講演会の開催など自治会独自の活動に対して補助を行うことで、地域の連帯感の醸成や地域活動の活性化を図る。	市民部		●	●	●	●	●	●	●					○		・自治会連合会と10自治会から補助金の申請があった。	1,559千円	1,559千円
521	文化鑑賞事業	観光や文化交流の拠点として整備されたメテオプラザの利用促進や交流人口の増加を目的に実施する文化鑑賞事業を支援する。	市民部		●	●	●	●	●	●	●					○		・9月16日、17日にミュージカル「あいと地球と競売人2023」の公演を行い、1,220名の来場があった。 ・10月21日、22日にしまね映画祭2023を行い、326名の来場があった。	2,328千円	2,328千円
522	八雲ふれあい文化祭事業	八雲町内各種文化サークル、小中学校、幼保園、保育園等の活動や作品の展示をはじめ、発表の場をつくることにより、町民の文化意識の向上と交流を図る。	市民部		●	●	●	●	●	●	●					○		・10月21日22日に展示、発表、模擬店の文化祭実施した。	169千円	169千円
523	玉湯文化活動推進事業	住民の柔軟な発想による企画、運営の文化祭及び文化・芸術講演会等を支援することにより、住民の主体的なまちづくりの促進を図る。	市民部			●	●		●	●						○		・10月28日(土)・29日(日)の2日間開催。 ・会場内では、4年ぶりに「飲食ブース」を設け、玉湯学園生徒による「模擬店」を行った。 ・ステージでは地元のサークル団体をはじめ、玉湯学園・松江農林高校吹奏楽部の演奏などで2日間延べ2,145名の来場で賑わった。 延べ2,145人の参加となった。	100千円	—
524	宍道地域文化活動推進事業	文化活動や生涯学習の推進を図るため、宍道公民館運営協議会が行う宍道町民文化祭、きまの里活性化協議会が行うきま川まつり(来楽館)に対して補助を行う。	市民部			●	●	●	●	●	●					○		・宍道町民文化祭の50周年記念事業として、10月28日(土)～12月3日(日)に宍道鼓動芸術祭を開催。 ・きま川まつりは、宍道鼓動芸術祭のオープニングイベントとして10月28日(土)に開催。	298千円	198千円
525	八束文化祭開催事業	八束地域の文化活動の発表の場である文化祭の開催を支援する。	市民部				●	●	●	●	●					○		・10月28日(土)、29日(日)に補助金交付申請なしで文化祭開催(作品展示は24日(火)～29日(日))。	196千円	186千円
528	総合的・体験的な学習充実事業【再掲】	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●					○		・各校の計画に沿って、順調に実施されている。	2,121千円	1,621千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない				
529	音楽教育振興事業助成	交通費等の経費を補助することで、遠距離校を含めた市内の小中学生が一同に会する機会を安定して創出し、児童生徒の音楽教育振興を図る。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●					○		・吹奏楽コンクールについては実施済み。連合音楽界は10月3日～5日に実施済み。	6,496千円	4,236千円
530	プラバホール音楽振興事業	プラバホール休館期間中に各種音楽振興事業を行う。(コンクール・コンサートの開催、音楽に関する情報の発信、演奏動画配信、講座の開催など)	教育委員会			●	●		●	●	●				●	○		・NPO法人音楽協会へ業務委託【主な事業の来場者数】0歳からは入れるコンサート285人 まちなかコンサート250人 オーバーホール見学会172人	40,268千円	—
531	鹿島文化ホール管理運営	松江市鹿島文化ホールの管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●					○		・NPO法人かしまによる指定管理利用者数 12,364人(前年同時期比135.5%)	12,043千円	15,292千円
532	総合文化センター運営	松江市総合文化センター(プラバホール)の管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●				●	○		・10月より図書館とホールを除く一部貸館施設を再開 プラバホール利用者数 3,659人	90,100千円	145,352千円
533	八雲アルバホール管理運営	八雲アルバホールの管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●					○		・市による直営管理利用者数 4,836人(前年同時期比182.0%)	6,689千円	6,763千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)																		
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない																					
【柱6】伝統文化芸術活動の拠点となる施設																			事業数49事業（うち、新規事業7事業）																		
601	小泉八雲旧居保存活用事業【再掲】	・旧居公開に向けた検討及び、保存活用計画策定準備を行う。 ・事務・事業委託（樹木管理）	文化スポーツ部	★			●	●	●							○		・施設の非公開部分の活用に向けた整理を含め、保存活用計画の策定をする必要がある。 ・保存活用計画策定に向けて、関係各所（文化庁、県等）協議を進めている。	904千円	8,514千円																	
602	美保関観光ビュッフェ保存活用事業【再掲】	重要文化財に指定（令和4年2月）されたことを受け、保存活用計画を策定する。	文化スポーツ部	★			●									○		・美保関灯台とあわせて施設の一部が重要文化財指定された（令和4年2月）ことに伴い、灯台の一般公開に向けた、課題の洗い出しや整理を進めている。 ・令和5年度保存活用計画案を作成中。 国や県のスケジュールに合わせて案を提出する。	484千円	—																	
603	SNS等による情報発信推進事業【再掲】	多種多様な伝統文化芸術を誰もが興味を持てるように、文化・スポーツ関係イベントを約1分程度のニュース動画にわかりやすくまとめ、年間を通じてYouTubeやSNS等で発信する。	文化スポーツ部	★			●	●								○		・9月以降に開催をした下記のイベントについて、会場の様子等を約1分間にまとめYouTubeにて配信をした。 【ニュースを作成したイベント】 ・第51回松江市民美術展、第57回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト、小泉八雲記念館企画展、松江祭実行列、松江歴史館企画展（2件）、第40回松江城大茶会、第1回市民で国宝松江城天守の床磨き、松江市歴史のまち歩き～白湯～、国宝松江城マラソン2023、第45回まつえレディースハーフマラソン、全国椿サミット松江大会	2,452千円	2,452千円																	
604	総合文化センターリニューアルオープン事業	大規模改修工事を経て、令和6年度にリニューアルオープンする総合文化センターが、文化芸術活動や学びの拠点として、より多くの市民に親しまれ、利用されるよう、1年を通して様々な記念行事を開催し、リニューアルした施設の周知及び来館促進を図る。	教育委員会	★			●	●	●	●	●					○		・6月8日に第1回松江市プラバホールリニューアルオープン事業実行委員会が開催され、委員会の設置及び今年度の事業計画等を確認した。2月9日に2回目の同実行委員会を開催予定。 ・今年度は、令和6年度に通年で実施するリニューアルオープン事業の事前準備、事業実施にあたっての広報活動等を行う。	2,915千円	22,750千円																	
605	鹿島文化ホール整備事業	松江市鹿島文化ホールの施設修繕を行う	教育委員会	★			●		●	●	●					○		・建設より30年以上が経過し、施設の老朽化が激しいため整備を行うもの。現在、以下の工事（2件）を実施中。 ・研修ホール空調機更新工事 ・屋上防水改修工事	42,641千円	—																	
606	中央図書館再開準備事業	リニューアル後の中央図書館をより利用しやすく居心地のよいものとする。中央図書館の再開に際し、備品等を整備し、読書環境の向上を図る。	教育委員会	★			●		●		●					○		・中央図書館リニューアル業務委託費、消耗品購入（事業執行分） 合計：2,688千円	2,895千円	—																	
607	東出雲図書館移転事業	東出雲複合施設に移転後の東出雲図書館をより利用しやすく居心地のよいものとするため、東出雲図書館の移転に際し、備品等を整備し、読書環境の向上を図る。	教育委員会	★			●		●		●					○		・東出雲図書館閲覧台の購入、物品運搬移設業務委託ほか（事業執行分） 合計：6,693千円	8,881千円	—																	

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない				
608	中海振興多目的施設管理運営	松江市中海振興多目的施設の維持管理運営費。船舶も利用可能な浮き桟橋のほかサイクリング休憩所や野鳥観察の機能を備えている。	政策部		●	●	●	●	●							○		・令和6年度1月時点の施設利用者数は、計3,684名。 ・実証実験(カヌー・ヨット)実施。	2,206千円	2,206千円
609	京店広場・旧日銀松江匠工房管理	松江市京店広場と旧日銀松江匠工房の管理運営を指定管理者に委託するもの。	産業経済部		●	●	●	●	●		●					○		・カラコロ工房リニューアルに向けた対応。 ・10月からフードホールの新テナント募集を実施。	17,400千円	30,817千円
610	京店広場・旧日銀松江匠工房整備事業(継続)	カラコロ工房本館棟は築80年以上経過し老朽化が進んでいる。耐震診断の結果や建築基準法第12条定期点検の結果から、早急な老朽改修工事の必要性を指摘されている。 一方でオープンしてから20年以上が経過し、拠点施設として一層の魅力化を図るため、施設のあり方を検討する。具体的には施設の利活用の案を民間事業者から公募し、提案内容を題材にしながら検討委員会で議論・検討を重ね、令和3年度末に基本構想を策定する。 最終的には令和6年度中のリニューアルオープンを目指し事業を進めていく。	産業経済部		●	●	●	●	●		●					○		・工事施工業者の入札。 ・リニューアル後のパース作成。 ・工事着手(令和5年10月～)	356,087千円	29,051千円
611	来待ストーン管理運営	来待ストーンの管理運営を指定管理者に委託するもの。	観光部		●	●	●	●	●	●	●					○		・管理運営を実施している。	18,282千円	19,073千円
612	海の学苑ふるさと創生館管理運営【再掲】	美保関海の学苑ふるさと創生館(メテオプラザ)の管理運営を指定管理者に委託する。	観光部		●	●	●	●	●		●					○		・管理運営を実施している。	80,489千円	103,225千円
614	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●					○		■審議会 第1回審議会:10月17日開催 第2回審議会:3月25日開催予定 ■庁内連絡会 ・必要に応じて開催をする予定 ■「令和6年度版松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画」を策定予定	648千円	1,261千円
615	明々庵及び赤山茶道会館管理運営【再掲】	松江市茶道文化施設(明々庵(県指定文化財)・赤山茶道会館)の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●					○		・適正な管理運営を行っている。 ・利用者数:13,832人(1月末時点)	12,288千円	17,880千円
616	八雲林間劇場施設改修事業	八雲林間劇場(しいの実シアター)について、老朽化、故障した施設設備を、計画的に修繕する。	文化スポーツ部		●	●	●				●					○		・空調機更新工事を実施	995千円	—

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない			
617	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		【松江の文化力体験推進事業】 ・11の教室を開催し、計362人の親子が本市の誇る伝統文化や文化芸術を体験する機会を創出した。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・7月に自治会を通じて、全市にチラシを回覧し、5つの団体から補助金申請を受けた。	5,763千円	4,763千円
619	小泉八雲記念館管理運営【再掲】	小泉八雲記念館の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数:55,563人(1月末時点)	24,030千円	35,318千円
620	かやぶき交流館改修事業	八雲かやぶき交流館について、計画的に修繕を行うもの。	文化スポーツ部		●	●	●						●		○		・茅葺屋根の改修方法の検討等について、施設のあり方を含め検討している。	456千円	—
621	かやぶき交流館管理運営	八雲かやぶき交流館の管理運営を指定管理者に委託するもの。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・貸館案内チラシのリニューアル及び広報努力により、利用者数が伸びている。 予約についての問い合わせ、施設見学の件数も伸びている。今後に期待する。	3,203千円	3,883千円
622	八雲林間劇場管理運営【再掲】	八雲林間劇場の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・指定管理事業として公演事業の実施。市内小中学生を対象とした育成事業の実施。 ・海外劇団招聘による観劇の実施。 ・令和6年度からの指定管理事業の見直しを行った。	16,561千円	33,020千円
623	中村元記念館活用事業【再掲】	インド哲学・仏教学上大変貴重な、松江市に寄贈された3万冊を超える蔵書を文書検索管理システムに分類・入力し、活用していく。また、学術振興を目的とし、学生の論文を対象とする「中村元東洋思想文化賞」の表彰にあたり奨励賞(市長賞)を授与するための負担金を支出する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・文書検索管理システム入力業務	14,993千円	15,609千円
624	ジオパーク推進事業【再掲】	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		子ども向け体験イベントをはじめ、定時ガイドによるツアーや研修会等、様々な活動により目標値に近い入込客数があった。	10,709千円	10,935千円
625	鹿島歴史民俗資料館管理運営【再掲】	鹿島歴史民俗資料館の管理・運営及び発掘調査に伴う出土品の特別展示や佐太神社を中心とした由緒ある文化財のほか、佐陀神能に関する資料、増田渉と魯迅関連資料等の保存・伝承や有効活用を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・企画展「海上の覇者 奥才古墳群」を開催。 ・特別展「茶色い戦争ありましたー軍事郵便と鹿島の戦争」を開催。	12,102千円	11,627千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している			
626	出雲玉作資料館管理運営【再掲】	全国唯一の玉作り資料館として、「古代の玉作り」を柱に、「近代めう細工」、「布志名焼の歴史」等の常設展示を行うとともに、企画展等を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・春季企画展「福島窯と本船木窯～江戸期から続いた民窯～」を開催 ・夏季企画展「没後10年 松木倭帆のガラス展～玉湯町布志名が生んだ工芸作家～」を開催 ・秋季企画展「手仕事の美～暮らしのなかの布志名焼と生活道具～」を開催。	10,565	11,910千円
627	松江城・城山公園管理運営【再掲】	国宝松江城天守を含む城山公園の維持管理・運営、活用を行う。【指定管理者制度適用】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・城山公園の管理・運営 ・大手前広場転落防止柵修繕 ・天守閣スポットライト取替 ・城山公園道路支障木剪定・伐採 ・ナラタケモドキ病対策薬剤防除 ・城山公園松くい虫防除樹幹注入	3,875千円	5,825千円
628	興雲閣管理運営【再掲】	県指定文化財である興雲閣の維持管理・運営、活用を行う。【指定管理制度適用】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・指定管理者による興雲閣の管理、施設の修繕。 ・多目的便所便座修繕。 ・カーテンクリーニング実施。	618千円	660千円
629	松江市文書館(仮称)機能整備事業	歴史的に重要な公文書と、地域に所在する歴史史料(古文書等)を等しく収集・整理・保存し、市民の利用に供することを目的とし、「松江市文書館(仮称)整備構想」に基づき、文書館の機能を整備する。	文化スポーツ部 総務部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・文書館基本計画検討に着手。 ・東出雲支所公文書の移転に係る準備 ・令和5年度の評価選別作業 ・アーキビスト育成(研修受講ほか)	4,607千円	5,152千円
630	松江歴史館管理運営【再掲】	松江の歴史及び文化に関する資料の収集、保存、調査研究、展示とともに学習活動の場を提供する松江歴史館の管理運営を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・1月末までの松江歴史館の入館者数は87,181人、観覧者数は39,486人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を10回行った。 ・松江歴史館ニューズレター「MATSUR EKI」を1回刊行した。 ・市立小学6年生等に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を34校行った。 ・松江市内の歴史に興味がある小学5・6年生を対象に、松江城や歴史館の裏側を見学する「めざせ！お城マスター！」を4回行った。 ・名誉館長講座を9回行った。	91,852千円	92,493千円
631	松江歴史館資料取得事業【再掲】	松江の歴史や文化に関わる財産を後世に引き継ぐため、貴重な資料は購入などによって取得するとともに、収蔵環境を良好に保ち、資料を適切に保管し活用する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・資料の寄贈・寄託・資料の購入を行った。(寄贈資料25件、寄託資料9件、購入資料3件)	2,606千円	2,610千円
632	松江歴史館調査・研究事業【再掲】	魅力ある展覧会とするため、翌年度以降に開催する展覧会の調査研究を行い、その成果を研究紀要や講演会で広く伝える。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・『松江歴史館研究紀要 第12号』の制作を行っている。	836千円	903千円
633	松江歴史館展示企画事業【再掲】	松江の歴史や文化を市民や観光客に知っていただくため、松江に深く関わりのあるテーマを題材とした展覧会を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・1月末までに、4回の企画展を行っている。 ①企画展「出雲国の白隠・大雅・風外一往來する禅と書画」 ②企画展「松江市小学校開校150年 みんなの小学校150年のあゆみ」 ③特別展「漆壺齋と勝軍木庵－花開く松江の漆文化－」 ④館藏品展「明治時代のサムライたち－松江藩士の行く末－」	15,621千円	18,386千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない			
634	松江ホーランエンヤ伝承館管理運営【再掲】	水都松江市が誇るホーランエンヤを保存伝承し、その素晴らしさを広く伝える松江ホーランエンヤ伝承館の管理運営を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●							○	・1月末までで、松江ホーランエンヤ伝承館の入館者数は5,178人だった。	4,952千円	5,932千円
635	総合文化センター整備	施設建設後36年が経過する中、文化振興の拠点としての役割をこれからも担うことができるよう、遵法・耐震・保全・改善に係る総合的な改修を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●							○	・10月より図書館とホールを除く一部貸館施設を再開。 ・12月に大規模改修工事完了。 ・パイプオルガンOH実施中(2月まで)	1,429,513千円	15,347千円
636	美保関歴史生活体験資料館運営事業【再掲】	美保関歴史生活体験資料館の管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●						○	・運営業務委託先：松江市美保関歴史・生活体験活動推進協議会 ・市内の小学生等の体験学習の受け入れを行っている 利用件数 3件 利用者数 112人	2,334千円	2,385千円
637	公民館管理	公民館の維持管理を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●						○	・市内29公民館を指定管理者制度により運営している。	632,160千円	686,197千円
638	公民館施設改修事業	公民館施設・設備の耐用年数等を踏まえ、優先度の高いものから改修等を実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●	●			●	●		○	・空調改修(竹矢、城西、秋鹿)工事実施予定 ・屋根改修(古志原)工事実施予定	34,514千円	1,353千円
639	公民館振興事業	市民学習発表会を松江市公民館運営協議会連合会へ事業実施を委託し実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●	●						○	・ブロック事業や市民学習発表会へ向けて各地区で活動を行っている。 ・今年度は全ブロックで市民学習発表会を開催する予定である。	1,880千円	1,880千円
640	鹿島文化ホール管理運営【再掲】	松江市鹿島文化ホールの管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●			●			○	・NPO法人かしまによる指定管理 利用者数 12,364人(前年同時期比135.5%)	12,043千円	15,292千円
641	出雲かんべの里運営事業【再掲】	出雲かんべの里の管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●						○	・特定非営利活動法人八雲総合サービス協会指定管理 利用者数50,090人(民話館6,382人、工芸館38,483人、かんべ茶屋5,225人)	41,911千円	42,600千円
642	人と情報・文化の交流館運営	人と情報・文化の交流館の管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●			●			○	・一般社団法人加賀瀬戸遊覧船指定管理 利用者数4,124人(ギャラリー-晁光13人、遊覧船乗船者4,111人)	10,525千円	13,746千円
643	総合文化センター運営【再掲】	松江市総合文化センター(プラバホール)の管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●						○	・10月より図書館とホールを除く一部貸館施設を再開 プラバホール利用者数 3,659人	90,100千円	145,352千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない				
644	八雲アルパホール管理運営【再掲】	八雲アルパホールの管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●							○		・市による直営管理 利用者数 4,836人 (前年同時期比182.0%)	6,689千円	6,763千円
645	中央図書館運営	市民の意見を取り入れながら、ニーズに応じた資料の収集やレファレンス、情報の発信を行う。中央図書館を中心に、2つの地域館、移動図書館車、配本事業の連携、また、地域、学校図書館、大学等とのネットワークにより全市域に良質な図書館サービスを提供する。	教育委員会		●	●	●	●	●							○		<R5.4~R6.1月実績> 【利用者数】40,813人 【貸出冊数】193,840冊 ※上記数値には、7月末まで中央図書館の代替サービスを行っていた2つのサービスステーション(イオン松江とステイツク)を含む。	435,000千円	31,920千円
646	移動図書館運営	図書館から離れた地域へ移動図書館車(ブックモバイル)で巡回して図書の貸出等を行い、全市域への図書館サービス充実を図る。	教育委員会		●	●	●	●	●							○		<R5.4~R6.1月実績> 【利用者数】1,939人 【貸出冊数】34,804冊	1,260千円	1,663千円
647	島根図書館運営	市全域に良質な図書館サービスを提供するため、地域館における図書資料の貸出、レファレンスサービス等を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●							○		<R5.4~R6.1月実績> 【利用者数】3,203人 【貸出冊数】17,369冊	3,273千円	3,487千円
648	東出雲図書館運営	市全域に良質な図書館サービスを提供するため、地域館における図書資料の貸出、レファレンスサービス等を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●							○		<R5.4~R6.1月実績> 【利用者数】11,223人 【貸出冊数】58,914冊	5,194千円	5,345千円
649	まちのRe-project事業	遊休不動産活用による面的な活性化を目指すエリアリノベーションに関する実践講座の開催や、遊休不動産活用・実事業化の提案と実践のための短期集中型合宿である「リノベーションスクール」の開催、遊休不動産実態調査などを行う。	都市整備部		●	●	●									○		・中心市街地において、松江市の「まちづくりのパートナー」となる都市再生推進法人の募集開始(R5.4~) ・中心市街地エリアビジョンに掲げる6つのゾーン内で行政が推進する主要事業についてまとめた。 ・過去5年以内に新しくできた遊休不動産を活用しているお店などを歩いて調査し、マップを作成。 ・白潟地区において、遊休不動産となっている物件を調査。 ・R4~継続してSNSでの情報発信。	65千円	80千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない			
705	SNS等による情報発信推進事業【再掲】	多種多様な伝統文化芸術を誰もが興味を持てるように、文化・スポーツ関係イベントを約1分程度のニュース動画にわかりやすくまとめ、年間を通じてYouTubeやSNS等で発信する。	文化スポーツ部	★			●	●								○	<ul style="list-style-type: none"> ・9月以降に開催をした下記のイベントについて、会場の様子等を約1分間にまとめYouTubeにて配信をした。 【ニュースを作成したイベント】 ・第51回松江市民美術展、第57回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト、小泉八雲記念館企画展、松江祭藝行列、松江歴史館企画展(2件)、第40回松江城大茶会、第1回市民で国宝松江城天守の床磨き、松江市歴史のまち歩き～白湯～、国宝松江城マラソン2023、第45回まつえレディースハーフマラソン、全国椿サミット松江大会 	2,452千円	2,452千円
706	中海振興多目的施設管理運営【再掲】	松江市中海振興多目的施設の維持管理運営費。船舶も利用可能な浮き桟橋のほかサイクリング休憩所や野鳥観察の機能を備えている。	政策部		●	●	●	●	●							○	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度1月時点の施設利用者数は、計3,684名。 ・実証実験(カヌー・ヨット)実施。 	2,206千円	2,206千円
707	雲州人参振興対策事業	雲州人参産地の再興を図るため、生産にかかる農家負担を軽減できるよう新たな栽培体系の実証、普及などに向けた取り組みに対して支援を行う。	産業経済部		●	●	●	●	●	●						○	<ul style="list-style-type: none"> (雲州人参栽培体系近代化実証試験) ・6/12に生産者の方々に、花卉センターで実施している実証試験の経過と結果を報告。 ・6/12に生産者の方々と意見交換会を開催。 	936千円	936千円
708	松江大根島牡丹振興対策事業	本市特産である、松江大根島牡丹の生産振興を図るため、国内外の販路拡大に向けた取組、土壌病害虫対策として、消毒剤の購入、新規就農者への苗の供給に対する支援を行う。	産業経済部		●	●	●	●	●	●						○	<ul style="list-style-type: none"> ■担い手確保及び消費拡大に向けた牡丹認知度向上を目的とした事業を実施 ・大根島牡丹祭、切花品評会実施(4月) ・中国牡丹園無料解放(4月) ・大根島牡丹パネル作成(4月) ・とっとり花回廊牡丹展(4月-5月) ・新庁舎オープニングイベント牡丹展示(5月) ・新田庁舎イベント牡丹展示(5月) ・松江駅で牡丹展示を実施(4-5月、1月) ・菊花展において牡丹展示(10-11月) ・SNSによる情報発信 ■国内外販路拡大 ・京都府立植物園100周年記念式典参加支援(7月) ・台湾との建国花市への出展に関するオンライン会議を開催(8月) ・台湾での建国花市へ出展支援(2月) 	3,895千円	4,553千円
709	八束花卉生産振興センター管理運営	農家の栽培・経営技術の向上、牡丹の品種の保存活動を行い、特産品の認知度向上を図る。特産品を基幹とした補完作物や新規作物の研究を行う。	産業経済部		●	●	●	●	●	●						○	<ul style="list-style-type: none"> ①(雲州人参栽培体系近代化実証試験)生産者へ実施状況を報告し、意見交換を行った。 ②(牡丹品種保存の取組)今年度、改植する品種を選定中。 ③(韃靼そば栽培実証)令和4年度で終了 	18,981千円	17,209千円
710	嫁ヶ島活用事業【再掲】	嫁ヶ島を活用したイベント開催を補助し観光資源として活用・魅力向上を図るとともに、常設ライトアップの維持管理を行う。	観光部		●	●	●	●	●	●						○	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から11月まで、土・日・祝(荒天時を除く)に嫁ヶ島のライトアップを実施した(桟橋工事により、6～8月末まで一時休止)。 ・8月6日(日)に「歩いて渡る嫁ヶ島」を実施。9月23日(土)に「嫁ヶ島万灯会」、10月中に「湖上茶会」を実施した。 	3,000千円	3,000千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない				
711	松江水郷祭補助金	松江市の最大の夏祭りである水郷祭の運営のため、補助金を交付する。	観光部		●	●	●	●	●	●						○	●	・将来にわたって持続可能な開催方法を検討するため、花火の発数と有料観覧席の発数を大幅に拡大した社会実験として、8月5日、6日に開催した。また、4年ぶりに飲食ブース、ステージイベントを再開した。 ・開催後、アンケート調査と市民ワークショップを開催し、来年度の開催方針決定に向けて意見を聴取した。	17,000千円	17,000千円
712	潜戸観光遊覧船更新事業【再掲】	(一社)加賀潜戸遊覧船が所有する船2艘の老朽化が進行し、新しいものでも30年が経過している状況にある。遊覧船更新により観覧受入環境を整え、ジオパークの推進に繋げる。	観光部				●	●	●	●						○	●	・5月に国土交通省の安全対策を踏まえた仕様の遊覧船の入札を行い、造船業者を決定した。	39,000千円	38,600千円
713	潜戸観光遊覧船運営費補助金【再掲】	島根半島東部地域の景勝地である加賀潜戸を周近で観覧できる遊覧船の運行管理体制を整えることで、観光事業の振興発展を図る。	観光部		●	●	●	●	●	●						○	●	・毎月計画通り補助金の支払を行っている。	7,500千円	7,500千円
714	チェリーロード管理運営	市道チェリーロード線沿いの桜並木の維持管理を行う。桜並木の施肥、消毒、下草刈を行う。桜開花時期に交通誘導、ライトアップ、看板の設置及び撤去を行う。	観光部		●	●	●	●			●					○		・維持管理のための草刈等の業務を実施している。	1,655千円	1,592千円
715	古浦海水浴場管理運営	恵曇漁港古浦海岸の維持管理を行うもの。	観光部		●	●	●	●			●					○		・維持管理のためのトイレ等の清掃や草刈等の業務を実施している。	3,117千円	2,723千円
716	自然公園維持管理	宍道湖北山県立自然公園内施設及び大山隠岐国立公園内施設の維持管理を行うもの。	観光部		●	●	●	●	●	●						○		・必要な維持管理業務を計画どおり行っている。	10,802千円	11,268千円
717	鹿島古浦展望台整備事業	古浦西長江トンネルの古浦側出口には、古浦の浜や恵曇漁港を一望できる展望地があり、この地を地域資源と捉えて展望台や駐車場・案内看板を整備することにより、人の集う環境を整え、地域の賑わい創出につなげるもの。	観光部				●									○	●	・令和5年11月20日完成(令和5年11月24日竣工)	48,926千円	—
718	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●					○	●	【松江の文化力体験推進事業】 ・11の教室を開催し、計362人の親子が本市の誇る伝統文化や文化芸術を体験する機会を創出した。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・7月に自治会を通じて、全市にチラシを回覧し、5つの団体から補助金申請を受けた。	5,763千円	4,763千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない			
719	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●						○	<ul style="list-style-type: none"> ■審議会 第1回審議会:10月17日開催 第2回審議会:3月25日開催予定 ■庁内連絡会 ・必要に応じて開催をする予定 ■「令和6年度版松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画」を策定予定 	648千円	1,261千円
720	椿文化観光振興事業	松江市の市花である「椿」の開花時期(3月から)に合わせ、松江城にて「松江椿まつり」を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●						●	○	・日本ツバキ協会と連携し、全国椿サミット松江大会の情報発信を行う。	10千円	210千円
721	ジオパーク推進事業【再掲】	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人財育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	子ども向け体験イベントをはじめ、定時ガイドによるツアーや研修会等、様々な活動により目標値に近い入込客数があった。	10,709千円	10,935千円
722	わがまち自慢発掘プロジェクト事業【再掲】	公民館区毎に作成した地域の“お宝”を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	・令和4年度に「まち歩きマップ」を改訂増刷した2地区をはじめ、8地区(大庭・本庄・法吉・乃木・大野・宍道・城北・白湯)で「まち歩き」を実施。(5月～11月)合計198名の参加があった。	1,108千円	1,130千円
723	伝統的建造物群保存地区検討事業【再掲】	美保関町美保関の美保神社周辺に残る歴史的なまちなみの保存・活用を通して、生活環境や景観の向上を図り、生活や生業、伝統行事等を後世へ継承する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財的価値づけにつなげるため、文化庁補助事業「伝統的建造物群保存対策調査」(2年間)の2年目に着手し、年間5回にわたる調査を完了している。 ・2月4日に調査の成果報告会を開催した。 ・重伝建制度の導入について住民の理解を深めるため、美保関まちなみ研究会の事業を運営し、計3回の勉強会などを開催した。 ・9～10月、住民による先進地視察を実施した。(岡山県矢掛町、大田市大森银山) 	4,377千円	1,149千円
725	賢明な利用推進事業	ラムサール条約の目的である「賢明な利用(ワイズユース)」を行政と市民が一体となって推進するため、庁内の関係各課との連携や、全国のラムサール条約登録湿地市町村と情報交換などを図る。	環境エネルギー部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	・ラムサール条約に関連する事業(宍道湖水環境改善協議会実施の手長工ビ採り体験や宍道湖での水遊び体験)を通じてワイズユースを推進している。	752千円	493千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している				計画どおり 進捗していない
726	宍道湖水環境改善協議会負担金	浅場造成事業等のハード事業推進のほかに、中海・宍道湖一斉清掃や啓発活動などのソフト事業の実施により、宍道湖の総合的な水質改善活動に努める。	環境エネルギー部		●	●	●	●			●				○		【中海・宍道湖一斉清掃】 実施日 令和5年6月11日(日) 参加人数 宍道湖 4,190名(全体7,033名) 【さくらおろち湖環境美化活動】 実施日 R5年7月7日(金) 【手長エビ採り体験】 実施日 R5年7月28日(金) 参加人数 67名 【親子で学ぶ宍道湖での水遊び体験】 実施日 R5年8月4日(金) 参加人数 54名 【宍道湖絵画コンクール】 募集期間(R5年7月中旬～9月29日(金)) 応募作品 27作品(うち入賞9作品) 表彰式 R5年11月26日(日) 【たたらの里 森で学ぶ、遊ぶ】 実施日 R5年10月21日(土) 参加人数 35名 【ヨシ刈り取りボランティア】 (R6年1月26日募集締切)	2,002千円	2,002千円
727	海岸漂着ごみ等処理事業	自治会等で行われるボランティア清掃により集められた海岸漂着ごみの収集、運搬、処理を行うことにより地域の環境保全の推進を図る。	環境エネルギー部		●	●	●	●			●				○		【海岸漂着ごみ等処理事業】 ボランティア回数 187回 回収量 47.17ton 回収に係る燃料代 99,740円	4,348千円	4,347千円
728	伝統美観保存区域等整備事業	松江市伝統美観保存区域等修景事業費補助金交付要綱に基づき、補助対象区域内における伝統的様式の建築物等の新築、改築に対し補助金を交付するもの。	都市整備部		●	●	●	●			●				○		・清光院下景観形成区域で工作物の改修に向けた補助金申請を受け、交付確定済み。伝統美観保存区域(塩見縄手地区)での建築物の外壁改修について補助申請を受け交付決定済み。2月上旬に工事は完了予定。 工作物:1件 建築物:1件	4,112千円	2,900千円
729	屋外広告物許可事務事業	市民の安全や良好な景観を守るため、松江市屋外広告物条例に基づいた屋外広告物の許可事務を行う。また、違反広告物対策として是正指導及び簡易除却を行い、屋外広告物の適正化を図る。	都市整備部		●	●	●	●			●				○		・令和5年4月1日から令和6年1月31日までの屋外広告物の許可件数および簡易除却数は下記のとおり。 ・新規許可件数:402件 ・更新許可件数:1,090件 ・簡易除却数:0件	778千円	857千円
730	景観計画促進整備事業	良好な景観形成に関する施策が特に必要と認められる区域を景観計画重点区域に指定する。景観法に基づく行為届出書(又は通知書)について、建築物・工作物等が景観計画に適合しているか確認を行う。必要に応じて、各種団体の代表や専門家等で構成される松江市景観審議会を開催し、良好な景観形成を推進する。	都市整備部		●	●	●	●			●				○		・令和5年4月1日から令和6年1月31日までの景観計画区域内における行為(変更)届出書及び通知書の件数は下記のとおり。 ・届出書:76件 ・通知書:13件	309千円	289千円
731	水辺の利活用促進事業	官民協働によるミズベリング松江協議会の運営及び構成団体の水辺利活用促進やミズベリング縁日など水辺でのイベントのほか利活用促進のための社会実験などを行う。	都市整備部		●	●	●	●			●				○		・中心市街地の宍道湖や大橋川沿いの水辺において、民間による利活用が活発に行われている。 ・商業利用による日常的な賑わい創出の社会実験として、7月末～10月に白瀧公園において「みずべを愉しむエトセトラ」が実施中。	3,800千円	3,640千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している	計画どおり 進捗していない			
732	矢田渡船活用検討調査	矢田渡船の歴史・文化資産としての活用を検討するため、活用検討補助金を支出するもの。	都市整備部		●	●	●	●			●	●	●		○		・自主運営に向けて協議を進めている。	1,000千円	—
733	河川浄化事業	堀川周辺水域に繁茂する水草・藻類の除去作業に加え、河川愛護団を中心とした市内河川の堤防除草等河川環境保全業務を行う。なお、市内県管理河川においては、島根県との協働により浄化事業を実施する。	都市整備部		●	●	●	●			●				○		・5月23日に松江堀川藻刈り業務委託契約を締結し、堀川周辺水域に繁茂する水草・藻類の除去作業を実施した。併せて直営による除去作業を随時実施した。 ・9月8日に松江堀川緊急藻刈り業務委託契約を締結し、水草・藻類の除去作業を実施した。 (R6水草・藻類処分量:55t) ・5月18日に「松江堀川における水草・藻類のモニタリング及び環境調査と水草2種の発芽育成実験」の業務委託契約を締結し、島根大学による研究を実施(継続中)。 ・河川愛護団による市内河川の堤防除草作業を実施した。 (R5実施団体:161団体)	45,136千円	48,370千円
734	堀川美化事業	堀川遊覧等で集客力のある「堀川」及び「堀川への流入河川・排水路」について、美化清掃を行うとともに周辺環境を整備するもの。	都市整備部		●	●	●	●			●				○		・堀川及び流入水域において直営による巡視を行い、漂流物の回収及び植栽管理、除草作業を実施(継続中)。	11,483千円	13,495千円
735	岸公園環境整備事業	岸公園の賑わいを創出するため、キッチンカーによる飲食の提供がしやすくなるよう出店エリアを整備する。	都市整備部			●	●	●					●		○		・キッチンカーエリア、出店エリアともに整備工事発注済み	15,271千円	—
736	川から海へ大航海in鹿島実行委員会補助金	鹿島町でそれぞれ行われてきた地域・世代間の交流を深め、自然環境を大切に地域行事「いかだ下り」や「郷土学習」の事業を同時開催する実行委員会に助成を行う。	市民部		●	●	●	●	●						○		・令和5年7月16日(日)実施。 ・当日は鹿島町内3小学校の4年生や地域の方を中心とした実行委員など延べ230人が参加。	200千円	200千円
737	ぼたん祭事業	実行委員会を組織し、松江市の特産であり、市花・県花である「大根島ぼたん」をテーマとする「松江市大根島ぼたん祭」を開催するもの。	市民部			●	●	●	●		●	●			○		・R5年度の「ぼたん祭」は既に開催済みであり、集客数は約3,500人とR4年度の2倍以上となった。 ・R6年度の開催に向け、R5年度ぼたん祭を振り返り、より良いイベントを開催するよう検討を予定されている。	3,939千円	3,742千円
738	ふるさと教育推進事業【再掲】	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小中学校で実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●		●				○		・令和5年7月21日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金の配布完了。令和5年度市内全小・中・義務教育学校において事業実施。	4,030千円	4,030千円
739	「ふるさと松江」学習推進事業【再掲】	小学校3・4年生の社会科で行うことになっている地域学習において活用する副読本「わたしたちの松江」のデータ化を行い、児童がタブレットを活用して見ることができるようにする。そこにリンク先を添付することで学びを広げたり、音や映像で学びを深めたりする。	教育委員会		●	●	●	●	●		●				○		・冊子のデータをPDFにして、タブレットで読むことができるようにした。特に使いにくさについての問い合わせもなく使用できている。	66千円	66千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					進捗状況		中間実績 (1月末時点)	当初予算額	当初予算額 (案)	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	計画どおり 進捗している				計画どおり 進捗していない
740	総合的・体験的な学習充実事業【再掲】	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●		●				○		・各校の計画に沿って、順調に実施されている。	2,121千円	1,621千円
741	まちのRe-project事業【再掲】	遊休不動産活用による面的な活性化を目指すエリアリノベーションに関する実践講座の開催や、遊休不動産活用・実事業化の提案と実践のための短期集中型合宿である「リノベーションスクール」の開催、遊休不動産実態調査などを行う。	都市整備部		●	●	●	●		●	●				○		・中心市街地において、松江市の「まちづくりのパートナー」となる都市再生推進法人の募集開始(R5.4~) ・中心市街地エリアビジョンに掲げる6つのゾーン内で行政が推進する主要事業についてまとめた。 ・過去5年以内に新しくできた遊休不動産を活用しているお店などを歩いて調査し、マップを作成。 ・白潟地区において、遊休不動産となっている物件を調査。 ・R4~継続してSNSでの情報発信。	65千円	80千円